

(14) 市民参画を進めるために必要なこと

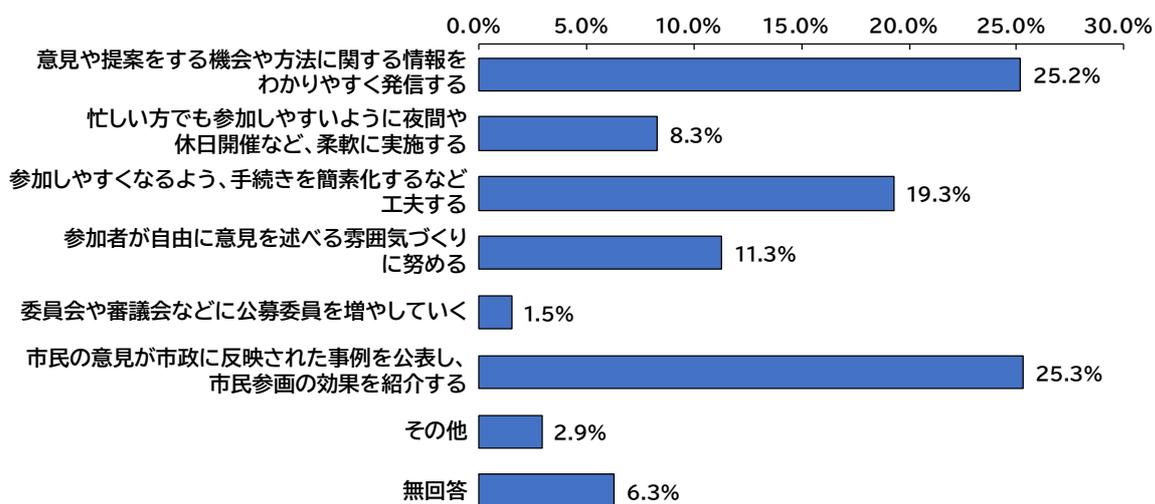
問16 北九州市において、市政への市民参画を進めるためには、何が重要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

項目	回答数	割合
1 意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する	295	25.2%
2 忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する	97	8.3%
3 参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する	226	19.3%
4 参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める	132	11.3%
5 委員会や審議会などに公募委員を増やしていく	18	1.5%
6 市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する	296	25.3%
7 その他	34	2.9%
無回答	74	6.3%

◆ 北九州市からの情報発信の方法について、

1位 市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する	25.3%
2位 意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する	25.2%
3位 参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する	19.3%



問16 市民参画を進めるために必要なこと

(単位:%)

		サンプル数	意見をわかりやすく発信する機会や方法に関する情報	忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する	参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する	参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める	委員会や審議会などに公募委員を増やしていく	市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する	その他	無回答
全体		1172	25.2	8.3	19.3	11.3	1.5	25.3	2.9	6.3
性別	男	468	21.6	11.1	17.9	12.8	2.4	26.3	3.8	4.1
	女	695	27.8	6.5	20.0	10.4	1.0	24.5	2.0	7.9
年齢	10・20歳代	68	30.9	14.7	16.2	13.2	0.0	11.8	7.4	5.9
	30歳代	107	26.2	11.2	28.0	12.1	0.0	15.9	4.7	1.9
	40歳代	144	25.0	13.9	17.4	10.4	2.8	25.0	2.8	2.8
	50歳代	190	25.8	11.6	17.9	10.5	3.2	24.2	2.1	4.7
	60歳代	234	33.8	4.7	23.9	7.3	1.3	24.4	1.7	3.0
	70歳以上	421	19.2	5.2	15.9	13.8	1.2	30.9	2.4	11.4
居住年数	1年未満	7	28.6	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0
	1年以上2年未満	16	25.0	12.5	43.8	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0
	2年以上3年未満	9	33.3	0.0	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0
	3年以上5年未満	41	26.8	12.2	24.4	9.8	0.0	19.5	4.9	2.4
	5年以上10年未満	45	24.4	13.3	31.1	6.7	0.0	20.0	0.0	4.4
	10年以上20年未満	118	19.5	11.9	25.4	10.2	4.2	20.3	3.4	5.1
	20年以上30年未満	129	30.2	8.5	14.0	12.4	2.3	24.0	2.3	6.2
	30年以上	798	25.2	7.1	17.7	11.5	1.3	27.3	2.8	7.1
職業	自営業(商・工・サービス業)	72	23.6	12.5	18.1	9.7	0.0	22.2	2.8	11.1
	自営業(医師・弁護士など)	13	61.5	7.7	0.0	0.0	7.7	23.1	0.0	0.0
	会社員	335	23.6	15.8	18.2	12.2	1.8	20.9	3.6	3.9
	公務員・教員	36	25.0	5.6	27.8	8.3	0.0	25.0	5.6	2.8
	農・林・漁業	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	169	30.2	4.1	22.5	10.1	0.6	26.6	1.8	4.1
	主婦・主夫(専業)	172	29.1	5.8	19.2	9.9	1.2	27.3	1.2	6.4
	学生	22	22.7	9.1	22.7	18.2	0.0	18.2	4.5	4.5
	無職	289	21.8	3.5	18.0	12.5	2.4	29.1	2.8	10.0
	その他	51	23.5	5.9	15.7	13.7	2.0	29.4	3.9	5.9
行政区	門司区	129	23.3	7.8	20.9	7.8	3.1	24.8	4.7	7.8
	小倉北区	199	26.1	12.1	20.1	11.1	1.5	22.1	2.5	4.5
	小倉南区	247	22.3	8.5	20.6	10.9	0.8	26.3	3.2	7.3
	若松区	109	29.4	3.7	20.2	8.3	3.7	24.8	2.8	7.3
	八幡東区	91	26.4	8.8	17.6	14.3	1.1	25.3	3.3	3.3
	八幡西区	316	26.9	6.6	18.0	13.6	0.9	25.9	1.9	6.0
	戸畑区	81	21.0	11.1	16.0	9.9	1.2	28.4	3.7	8.6

■ 経年比較

年度	サンプル数	意見をわかりやすく発信する機会や方法に関する情報	忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する	参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する	参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める	委員会や審議会などに公募委員を増やしていく	市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する	その他	無回答
令和5年度	1172	25.2	8.3	19.3	11.3	1.5	25.3	2.9	6.3
平成30年度	1053	26.6	10.4	16.2	12.2	1.1	24.4	3.2	5.8
平成26年度	1275	29.6	10.8	14.3	13.1	0.9	22.4	2.0	7.1

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

市民参画を進めるために必要なこと

【 全 体 的 傾 向 】

市政への市民参画を進めるために必要だと思うことは、「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」(25.3%)と「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」(25.2%)の2つが2割を超え、次いで「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」(19.3%)の順になっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

《性別にみると》

- 男性では「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」が 21.6%であるが、女性では 27.8%となっており、男性よりも 6.2 ポイント多くなっている。

《年齢別にみると》

- 10・20 歳代、50・60 歳代では「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」、30 歳代では「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」、70 歳以上では「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」が最も多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 3 年以上 5 年未満、20 年以上では「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」、5 年以上 20 年未満では「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」が最も多くなっている。

《職業別にみると》

- どの層でも「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」が最も多い。

《行政区別にみると》

- 門司区、小倉南区、戸畑区では「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」、小倉北区、若松区、八幡東区、八幡西区では「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」が最も多くなっている。

【 経 年 比 較 】

「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」(平成 26 年度 22.4% →平成 30 年度 24.4% →今年度 →25.3%)、「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」(平成 26 年度 14.3% →平成 30 年度 16.2% →今年度 →19.3%)は増加し、「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」(平成 26 年度 29.6% →平成 30 年度 26.6% →今年度 →25.2%)は減少している。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

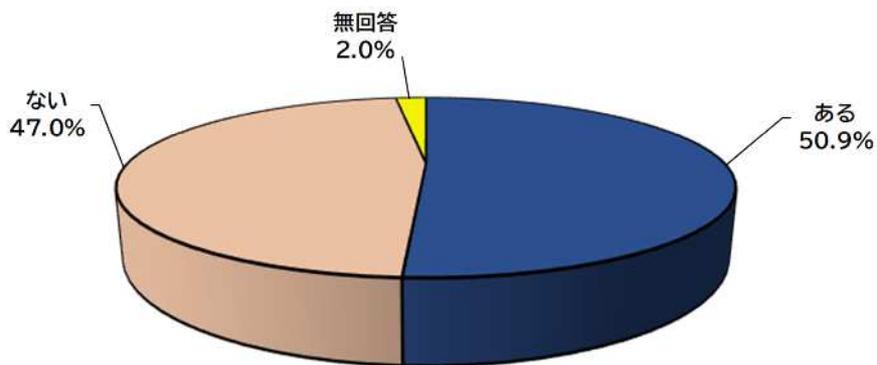
- ・ 仕事中でも行けるように義務化する。
- ・ 前提として、意見を述べる機会はいくらでもあるのだと思うが、どうしても参加者は市民の中でも偏ってしまうのではと感じる。そこをどう広げていくか考え、積極的市政への市民参画を進めていけたらよいと思う。
- ・ ネットや SNS などうまく利用してほしい。仕事をしている人は、出前講座、パブリックコメント。委員などの形では参加しにくいと思う。
- ・ 外出せず、参加出来る方法。
- ・ 各企業に時間を取ってもらい機会を作る。
- ・ 意見を出した人のプライバシーが守られること。不要な圧力の防止。
- ・ まずは市政に興味を持ってもらう事。こうしてほしい等意見があっても、なかなか伝えようという気持ちにならない人が多いのでは。
- ・ 市民センターに集まり、住民の要望を聞く事。高齢者は書く事など嫌う。まちづくり委員が司会者で市は結果報告を待つ。
- ・ 市民参加の機会を一度必ず設ける。
- ・ 町内会等を活用し、市民の生の声が行政に届くようなシステムの構築。
- ・ わっしょい百万祭りなど、人が動く時に何らかの行動をしたらどうですか。
- ・ Web 会議とし、裁判員裁判と同じ手法をもっと半強制的にさせる。報酬を出して仕事と位置づける。
- ・ 行政が課題解決への真摯で積極的な姿勢を見せる。若い世代も参加しやすいようにする。
- ・ 参加しやすい仕組み作り。LINE やオンライン等での参加等。
- ・ 過去の成果を明示してほしい。
- ・ 自治会、町内会の活動を月 1 回報告書提出
- ・ 参加しやすいようにネットを使用する。

(15) 地域活動への参加経験の有無

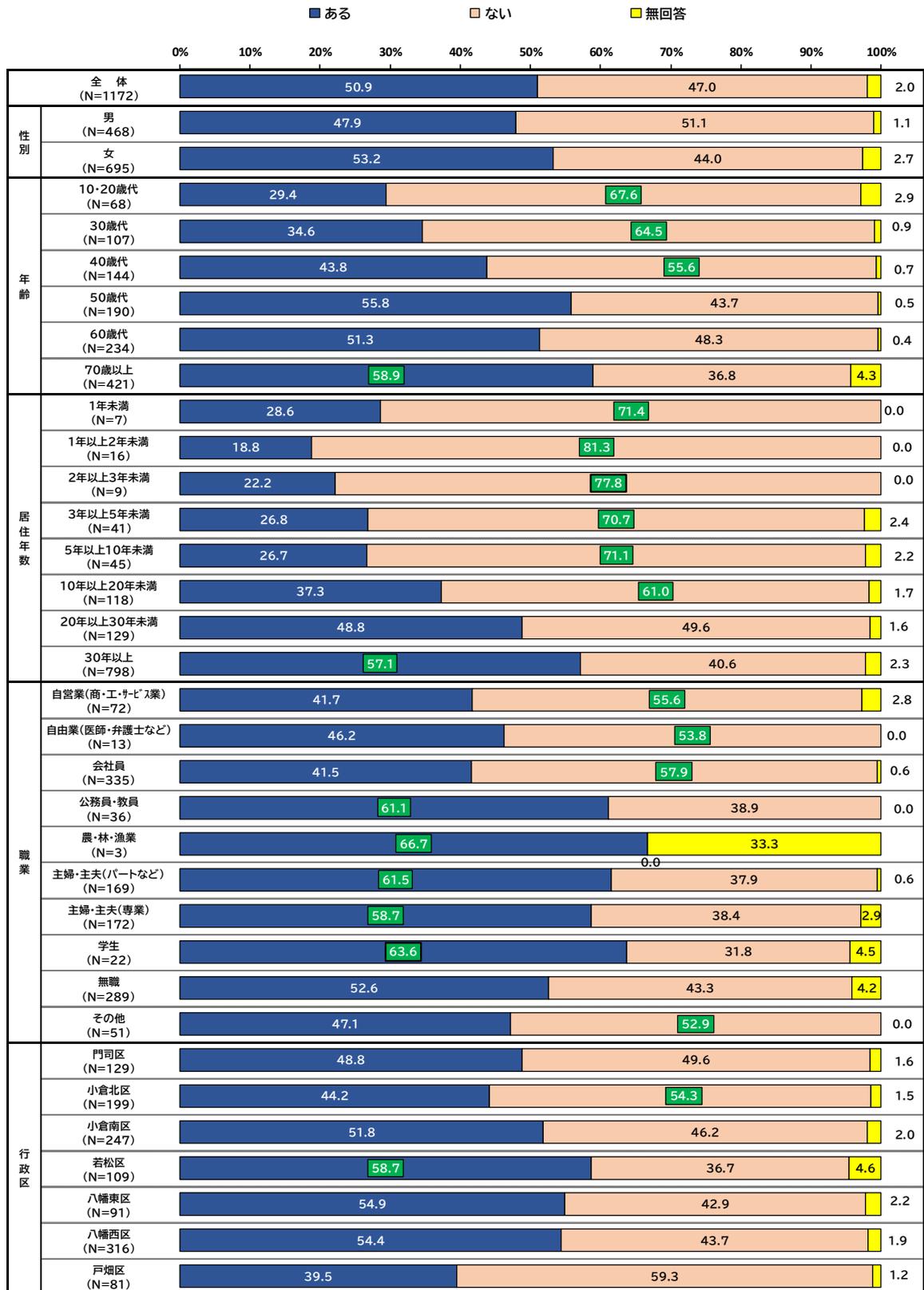
問17 あなたは、これまでに「地域活動」に参加したことがありますか。どちらか1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

項目	回答数	割合
1 ある	597	50.9%
2 ない	551	47.0%
無回答	24	2.0%



問17 地域活動への参加経験の有無



(注) 数字 全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)



地域活動への参加経験の有無

【全体的傾向】

これまでに「地域活動」に参加したことがあるかを尋ねたところ、「ある」(50.9%)が「ない」(47.0%)をやや上回っている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 男性では「ある」が47.9%であるが、女性では53.2%となっており、女性の方が5.3ポイント多くなっている。

《年齢別にみると》

- 年齢が高くなるほど、「ある」が概ね高くなる傾向にある。

《居住年数別にみると》

- 居住年数が長くなるほど、「ある」が概ね高くなる傾向にある。

《職業別にみると》

- 自営業、会社員、その他では「ない」が半数を超えている。

《行政区別にみると》

- 小倉南区、若松区、八幡東区、八幡西区では「ある」、門司区、小倉北区、戸畑区では「ない」の方が多くなっている。

【経年比較】

「ある」は平成26年度には57.1%であったが、平成30年度は52.3%となり、今年度は50.9%にまで減少している。

(15) -1 どのような地域活動に参加したことがあるのか

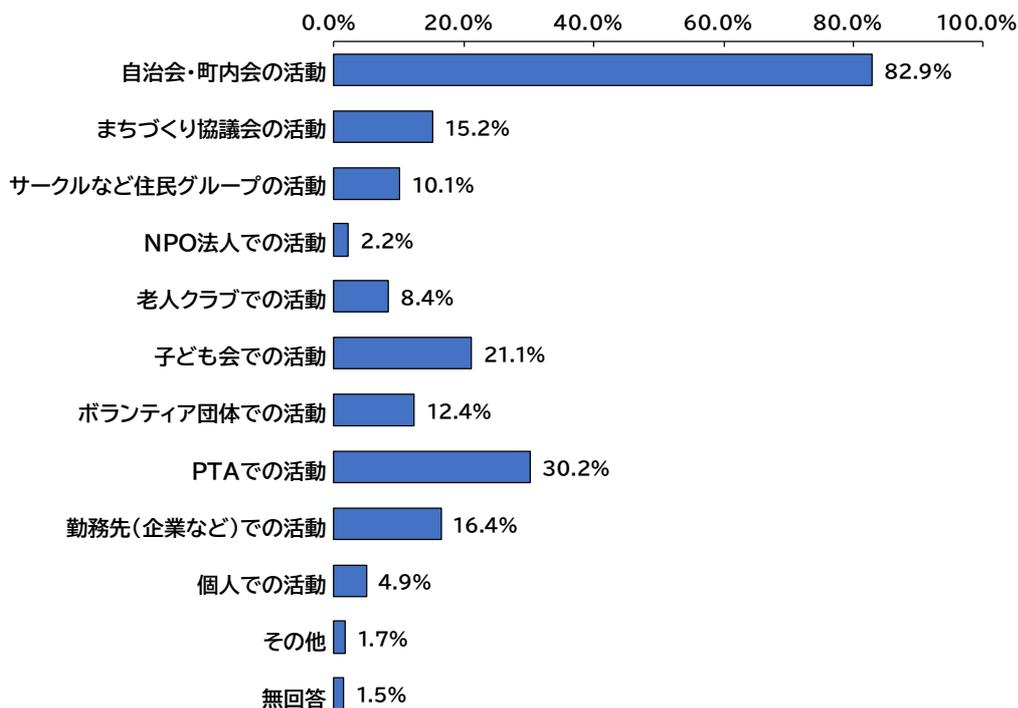
副問17-1 問17で1を選んだ方におたずねします。どのような「地域活動」に参加しましたか。活動回数の多いものを3つまで選んで、番号に○をつけてください。

N=597人

項目	回答数	割合
1 自治会・町内会の活動	495	82.9%
2 まちづくり協議会の活動	91	15.2%
3 サークルなど住民グループの活動	60	10.1%
4 NPO法人での活動	13	2.2%
5 老人クラブでの活動	50	8.4%
6 子ども会での活動	126	21.1%
7 ボランティア団体での活動	74	12.4%
8 PTAでの活動	180	30.2%
9 勤務先(企業など)での活動	98	16.4%
10 個人での活動	29	4.9%
11 その他	10	1.7%
無回答	9	1.5%

◆ 市民の満足度は、

1位 自治会・町内会の活動	82.9%
2位 PTAでの活動	30.2%
3位 子ども会での活動	21.1%



副問17-1 どういった地域活動に参加したことがあるのか

(単位:%)

	サンプル数	自治会・町内会の活動	まちづくり協議会の活動	サークルなど住民グループの活動	NPO法人での活動	老人クラブでの活動	子ども会での活動	ボランティア団体での活動	PTAでの活動	勤務先(企業など)での活動	個人での活動	その他	無回答	
全体	597	82.9	15.2	10.1	2.2	8.4	21.1	12.4	30.2	16.4	4.9	1.7	1.5	
性別	男	224	84.4	18.8	6.3	2.2	6.3	15.6	15.2	17.0	25.9	7.1	0.9	1.8
	女	370	81.9	13.0	12.2	2.2	9.2	24.6	10.8	38.4	10.8	3.5	2.2	1.4
年齢	10・20歳代	20	65.0	5.0	0.0	10.0	0.0	45.0	40.0	0.0	20.0	5.0	10.0	0.0
	30歳代	37	62.2	10.8	2.7	0.0	2.7	24.3	8.1	29.7	35.1	0.0	2.7	0.0
	40歳代	63	68.3	6.3	1.6	3.2	0.0	19.0	11.1	42.9	25.4	1.6	1.6	0.0
	50歳代	106	76.4	9.4	2.8	3.8	0.9	20.8	6.6	48.1	21.7	1.9	1.9	3.8
	60歳代	120	84.2	11.7	9.2	2.5	2.5	25.8	10.8	38.3	22.5	3.3	0.8	1.7
	70歳以上	248	93.1	23.0	17.3	0.8	17.3	17.3	14.5	18.1	6.0	8.5	1.2	1.2
居住年数	1年未満	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	1年以上2年未満	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	2年以上3年未満	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満	11	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	27.3	45.5	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	12	58.3	16.7	8.3	0.0	8.3	25.0	8.3	66.7	8.3	8.3	8.3	0.0
	10年以上20年未満	44	75.0	6.8	6.8	2.3	4.5	29.5	11.4	40.9	9.1	4.5	0.0	2.3
	20年以上30年未満	63	79.4	14.3	3.2	3.2	3.2	22.2	9.5	27.0	22.2	3.2	4.8	0.0
	30年以上	456	86.6	16.0	11.4	1.8	9.4	20.6	13.2	29.2	15.8	5.0	0.9	1.8
職業	自営業(商・エ・サ・ビ・業)	30	76.7	20.0	13.3	0.0	0.0	6.7	10.0	23.3	6.7	13.3	3.3	3.3
	自営業(医師・弁護士など)	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	会社員	139	73.4	7.2	3.6	1.4	2.2	25.9	10.1	32.4	38.1	2.9	0.0	2.2
	公務員・教員	22	63.6	13.6	4.5	9.1	0.0	4.5	13.6	40.9	22.7	0.0	4.5	0.0
	農・林・漁業	2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	104	85.6	10.6	8.7	1.0	3.8	30.8	4.8	52.9	6.7	1.9	1.0	1.0
	主婦・主夫(専業)	101	89.1	18.8	15.8	2.0	12.9	18.8	10.9	31.7	5.0	5.9	2.0	3.0
	学生	14	64.3	0.0	0.0	7.1	0.0	50.0	42.9	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0
	無職	152	92.8	23.0	13.8	1.3	15.1	15.1	17.8	18.4	11.2	7.2	1.3	0.7
	その他	24	66.7	25.0	12.5	12.5	16.7	20.8	16.7	12.5	29.2	4.2	4.2	0.0
行政区	門司区	63	85.7	19.0	14.3	0.0	6.3	17.5	9.5	36.5	17.5	7.9	0.0	1.6
	小倉北区	88	71.6	17.0	8.0	2.3	10.2	22.7	14.8	34.1	22.7	10.2	1.1	1.1
	小倉南区	128	86.7	14.1	8.6	2.3	14.1	22.7	14.1	28.9	18.0	1.6	1.6	0.0
	若松区	64	81.3	9.4	9.4	3.1	3.1	15.6	15.6	21.9	17.2	1.6	3.1	1.6
	八幡東区	50	80.0	22.0	6.0	4.0	8.0	26.0	8.0	26.0	8.0	4.0	0.0	8.0
	八幡西区	172	86.0	14.0	13.4	2.3	5.8	22.7	11.0	31.4	12.2	5.2	2.9	1.2
	戸畑区	32	84.4	15.6	3.1	0.0	9.4	12.5	12.5	28.1	25.0	3.1	0.0	0.0

■ 経年比較

年度	サンプル数	自治会・町内会の活動	まちづくり協議会の活動	サークルなど住民グループの活動	NPO法人での活動	老人クラブでの活動	子ども会での活動	ボランティア団体での活動	PTAでの活動	勤務先(企業など)での活動	個人での活動	その他	無回答
令和5年度	597	82.9	15.2	10.1	2.2	8.4	21.1	12.4	30.2	16.4	4.9	1.7	1.5
平成30年度	551	86.9	16.0	10.5	2.0	6.9	28.7	12.7	31.4	13.8	3.6	3.1	0.4
平成26年度	664	86.4	20.5	12.7	3.5	10.2	28.0	14.6	28.3	14.5	4.1	0.8	0.5

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

どういった地域活動に参加したことがあるのか

【全体的傾向】

参加した「地域活動」で活動回数の多いものは、「自治会・町内会の活動」(82.9%)が最も多く、8割強となっている。次いで「PTAでの活動」(30.2%)「子ども会での活動」(21.1%)と続いている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 男女で差のあるものとしては、「PTAでの活動」(男性 17.0%、女性 38.4%:21.4 ポイント差)が特に大きくなっている。次いで「子ども会での活動」(男性 15.6%、女性 24.6%:9.0 ポイント差)となっている。

《年齢別にみると》

- 年齢が高くなるほど「自治会・町内会の活動」は多くなっており、70歳以上では93.1%に達している。また、「PTAでの活動」は40～50歳代で多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 10年未満の回答者が少ないため、図表に示すのみとする。

《職業別にみると》

- 主婦・主夫(専業)、無職では「自治会・町内会の活動」、主婦・主夫(パートなど)では「PTAでの活動」が多くなっている。

《行政区別にみると》

- 行政区で差の大きい上位項目としては、「自治会・町内会の活動」(小倉南区 86.7%、小倉北区 71.6%:15.1 ポイント差)、「PTAでの活動」(門司区 36.5%、若松区 21.9%:14.6 ポイント差)などである。

【経年比較】

「PTAでの活動」(平成 26 年度 28.3%→平成 30 年度 31.4%→今年度 30.2%)や「勤務先(企業など)での活動」(平成 26 年度 14.5%→平成 30 年度 13.8%→今年度 16.4%)は平成 26 年度に比べて微増しているが、その他の活動については平成 26 年度に比べて微減している。

【自由記述の回答状況】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 社会福祉協議会
- ・ 選挙立会人として選挙活動に参加。
- ・ 市民センターのイベント。
- ・ 町内草刈り、清掃。
- ・ チャリティコンサート
- ・ 大学の実習
- ・ 子どものクラブでの活動

(15) -2 地域活動に参加している理由

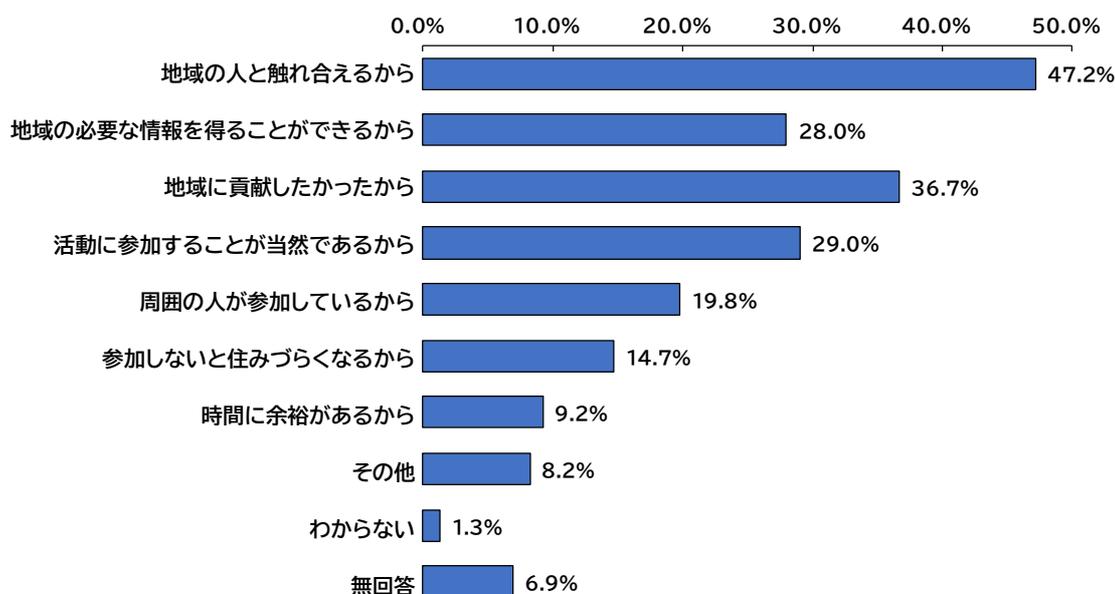
副問17-2 問17で1を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」に参加している理由は何ですか。次の中から3つまで選んで、番号に○をつけてください。

N=597人

項目	回答数	割合
1 地域の人と触れ合えるから	282	47.2%
2 地域の必要な情報を得ることができるから	167	28.0%
3 地域に貢献したかったから	219	36.7%
4 活動に参加することが当然であるから	173	29.0%
5 周囲の人が参加しているから	118	19.8%
6 参加しないと住みづらくなるから	88	14.7%
7 時間に余裕があるから	55	9.2%
8 その他	49	8.2%
9 わからない	8	1.3%
無回答	41	6.9%

◆ 市民の満足度は、

1位 地域の人と触れ合えるから	47.2%
2位 地域に貢献したかったから	36.7%
3位 活動に参加することが当然であるから	29.0%



副問17-2 地域活動に参加している理由

(単位:%)

	サンプル数	地域の人と触れ合えるから	地域の必要な情報を得ることができるから	地域に貢献したかったから	活動に参加することが当然であるから	周囲の人が参加しているから	参加しないと住みづらくなるから	時間に余裕があるから	その他	わからない	無回答	
全体	597	47.2	28.0	36.7	29.0	19.8	14.7	9.2	8.2	1.3	6.9	
性別	男	224	49.6	25.9	46.4	31.7	18.8	13.4	8.5	8.0	0.9	6.3
	女	370	45.7	29.2	30.8	27.3	20.3	15.7	9.7	8.1	1.6	7.3
年齢	10・20歳代	20	35.0	0.0	35.0	15.0	35.0	10.0	10.0	20.0	5.0	10.0
	30歳代	37	32.4	13.5	27.0	18.9	24.3	18.9	5.4	16.2	8.1	5.4
	40歳代	63	31.7	15.9	39.7	12.7	22.2	20.6	3.2	7.9	0.0	7.9
	50歳代	106	36.8	20.8	37.7	22.6	20.8	18.9	7.5	15.1	0.9	2.8
	60歳代	120	45.0	30.0	41.7	31.7	20.8	12.5	3.3	5.8	1.7	10.0
	70歳以上	248	59.7	37.5	34.7	37.1	16.1	12.5	14.9	4.0	0.4	6.9
居住年数	1年未満	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	2年以上3年未満	2	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満	11	27.3	0.0	45.5	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	18.2
	5年以上10年未満	12	41.7	50.0	50.0	25.0	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3
	10年以上20年未満	44	34.1	15.9	34.1	18.2	27.3	18.2	6.8	9.1	4.5	9.1
	20年以上30年未満	63	34.9	17.5	33.3	20.6	22.2	14.3	7.9	12.7	1.6	6.3
	30年以上	456	50.2	30.9	37.1	31.8	19.1	14.9	9.9	7.9	1.1	6.1
職業	自営業(商・工・サービス業)	30	60.0	30.0	50.0	33.3	23.3	20.0	0.0	3.3	0.0	6.7
	自営業(医師・弁護士など)	6	33.3	33.3	50.0	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	会社員	139	38.1	19.4	41.0	28.8	22.3	11.5	4.3	9.4	1.4	8.6
	公務員・教員	22	22.7	9.1	50.0	13.6	9.1	13.6	4.5	40.9	0.0	0.0
	農・林・漁業	2	50.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	104	42.3	26.0	26.0	27.9	21.2	17.3	5.8	6.7	1.9	8.7
	主婦・主夫(専業)	101	56.4	42.6	31.7	27.7	18.8	15.8	14.9	7.9	1.0	4.0
	学生	14	28.6	0.0	35.7	14.3	35.7	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1
	無職	152	54.6	30.9	40.1	34.2	18.4	14.5	12.5	4.6	0.7	5.9
	その他	24	54.2	29.2	25.0	29.2	8.3	12.5	20.8	4.2	4.2	16.7
行政区	門司区	63	47.6	20.6	34.9	28.6	22.2	12.7	6.3	12.7	1.6	11.1
	小倉北区	88	55.7	30.7	33.0	23.9	17.0	14.8	13.6	4.5	1.1	10.2
	小倉南区	128	49.2	31.3	31.3	27.3	22.7	18.0	10.2	5.5	1.6	5.5
	若松区	64	48.4	32.8	43.8	21.9	18.8	15.6	4.7	7.8	1.6	4.7
	八幡東区	50	46.0	32.0	32.0	30.0	18.0	12.0	12.0	12.0	0.0	2.0
	八幡西区	172	44.2	25.0	43.0	37.2	19.2	14.5	9.3	8.7	1.2	5.8
	戸畑区	32	31.3	21.9	31.3	18.8	18.8	9.4	3.1	12.5	3.1	12.5

■ 経年比較

年度	サンプル数	地域の人と触れ合えるから	地域の必要な情報を得ることができるから	地域に貢献したかったから	活動に参加することが当然であるから	周囲の人が参加しているから	参加しないと住みづらくなるから	時間に余裕があるから	その他	わからない	無回答
令和5年度	597	47.2	28.0	36.7	29.0	19.8	14.7	9.2	8.2	1.3	6.9
平成30年度	551	55.4	34.1	32.5	35.0	20.0	17.2	10.2	7.6	0.7	3.6
平成26年度	664	58.0	33.1	34.2	40.8	14.8	11.4	10.4	5.3	0.2	6.4

(注) **太字** 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動に参加している理由

【全体的傾向】

「地域活動」に参加している理由は、「地域の人と触れ合えるから」(47.2%)が最も多く、5割弱となっている。次いで「地域に貢献したかったから」(36.7%)、「活動に参加することが当然であるから」(29.0%)、「地域の必要な情報を得ることができるから」(28.0%)の順となっている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 男性では「地域に貢献したかったから」が 46.4%であるが、女性では 30.8%となっており、男性の方が 15.6 ポイント多くなっている。

《年齢別にみると》

- 年齢が高くなるほど、「地域の人と触れ合えるから」、「活動に参加することが当然であるから」、「地域の必要な情報を得ることができるから」は概ね多くなる傾向にある。逆に、「周囲の人が参加しているから」は年齢が低いほど概ね多くなる傾向にある。

《居住年数別にみると》

- 10年未満の回答者が少ないため、図表に示すのみとする。

《職業別にみると》

- 主婦・主夫(専業)では、「地域の人と触れ合えるから」、「地域の必要な情報を得ることができるから」が多くなっているが、会社員、公務員・教師では少なくなっている。

《行政区別にみると》

- 行政区で差の大きい上位項目としては、「地域の人と触れ合えるから」(小倉北区 55.7%、戸畑区 31.3%:24.4 ポイント差)、「地域に貢献したかったから」(若松区 43.8%、小倉南区 31.3%:12.5 ポイント差)、「活動に参加することが当然であるから」(八幡西区 37.2%、戸畑区 18.8%:18.4 ポイント差)などである。

【経年比較】

「地域の人と触れ合えるから」(平成 26 年度 58.0%→平成 30 年度 55.4%→今年度 47.2%)が平成 26 年度に比べ 10.8 ポイント減小し、「活動に参加することが当然であるから」(平成 26 年度 40.8%→平成 30 年度 35.0%→今年度 29.0%)も平成 26 年度に比べて 11.8 ポイント減少している。

【自由記述の回答状況】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 順番・当番で回ってくるから。
- ・ マンション入居の条件が町内会への加入。
- ・ 会社で定期的に。
- ・ 町内の決まり。

- ・ 自治委員は順番だから。
- ・ 長くこの街に住み続けたいため。
- ・ 自治会の独善的活動に意見を述べたいから。
- ・ 住んでいるマンションの役員なので順番で。
- ・ くじで町内会長になったから。
- ・ 地域活動をしている方に協力したかったから。
- ・ 町内住民が高齢で町内役員出来る人がいないためです。
- ・ 高齢化のため活動出来る人が少なくなってきたから。
- ・ 自分の住んでいる町内が住みやすくなるよう、自主的に草刈り、ゴミ拾いをしている。
- ・ 町内会長にお願いされたから。
- ・ 学校の活動で地域の活動という意識はあまりなかった。
- ・ 町内会の役員になったから。
- ・ 家族が参加することで楽しそうであったため。
- ・ 職場で担当割りが決まっていたから。
- ・ 他に若手が参加しなくて、辞めるわけには行かない。他の人は、ほぼ後期高齢者。
- ・ 職場で参加するように指示を受けたから。
- ・ 年齢層が幅広いので、いろいろな人の考え方や意見が聞けてとても勉強になる。子どもも一緒に参加すると、核家族でもいろいろな人と接することができるのでよい刺激になっている。
- ・ 自分に出来ることで役に立てると思って。
- ・ 自治会役員であった。
- ・ 町内会や子ども会の役員になったから
- ・ 婦人会に入っていたから。
- ・ 町内会の委員になったから
- ・ 大学生時に周辺地域のために何が出来るかを考えた。

(15) -3 地域活動に参加したきっかけ

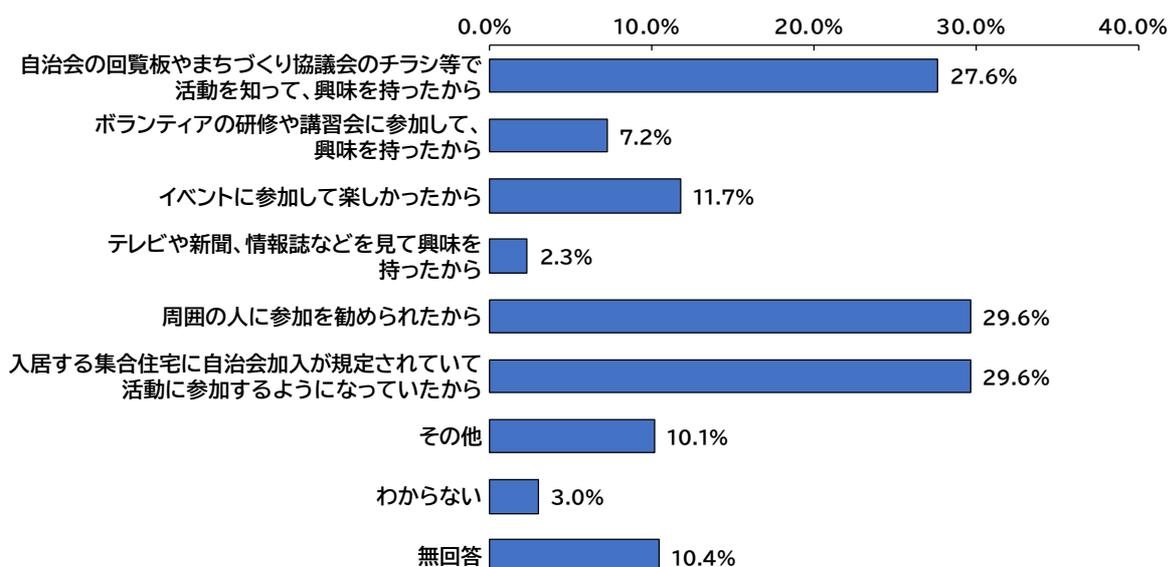
副問17-3 問17で1を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」に参加したきっかけは何ですか。次の中から2つまで選んで、番号に○をつけてください。

N=597人

項目	回答数	割合
1 自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持った	165	27.6%
2 ボランティアの研修や講習会に参加して、興味を持ったから	43	7.2%
3 イベントに参加して楽しかったから	70	11.7%
4 テレビや新聞、情報誌などを見て興味を持ったから	14	2.3%
5 周囲の人に参加を勧められたから	177	29.6%
6 入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになったから	177	29.6%
7 その他	60	10.1%
8 わからない	18	3.0%
無回答	62	10.4%

◆ 市民の満足度は、

1位 周囲の人に参加を勧められたから	29.6%
2位 入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから	29.6%
3位 自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから	27.6%



副問17-3 地域活動に参加したきっかけ

(単位:%)

		サンプル数	自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから	ボランティアの研修や講習会に参加して、興味を持ったから	イベントに参加して楽しかったから	テレビや新聞、情報誌などを見て興味を持ったから	周囲の人に参加を勧められたから	入居する集合住宅に自治会加入が規定されていたから	その他	わからない	無回答
全 体		597	27.6	7.2	11.7	2.3	29.6	29.6	10.1	3.0	10.4
性別	男	224	32.1	7.6	13.4	3.6	29.5	29.0	9.8	2.7	8.5
	女	370	24.9	7.0	10.8	1.6	30.0	30.0	10.3	3.2	11.4
年齢	10・20歳代	20	10.0	10.0	0.0	5.0	30.0	15.0	20.0	15.0	15.0
	30歳代	37	16.2	2.7	5.4	2.7	32.4	13.5	27.0	5.4	10.8
	40歳代	63	14.3	3.2	7.9	0.0	30.2	33.3	7.9	4.8	14.3
	50歳代	106	22.6	2.8	10.4	2.8	25.5	31.1	17.9	0.9	9.4
	60歳代	120	27.5	5.8	12.5	2.5	27.5	32.5	8.3	4.2	10.8
	70歳以上	248	36.3	11.3	14.9	2.4	32.3	30.2	4.8	1.6	8.9
居住年数	1年未満	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	2年以上3年未満	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	3年以上5年未満	11	9.1	0.0	9.1	0.0	36.4	27.3	18.2	0.0	18.2
	5年以上10年未満	12	41.7	0.0	8.3	8.3	8.3	50.0	0.0	8.3	16.7
	10年以上20年未満	44	18.2	4.5	6.8	0.0	36.4	22.7	11.4	9.1	11.4
	20年以上30年未満	63	23.8	9.5	6.3	3.2	28.6	19.0	12.7	3.2	19.0
	30年以上	456	29.4	7.7	13.2	2.4	30.0	31.8	9.2	2.4	8.1
職業	自営業(商・工・サービス業)	30	36.7	3.3	16.7	0.0	33.3	16.7	6.7	0.0	10.0
	自由業(医師・弁護士など)	6	33.3	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7
	会社員	139	25.2	3.6	7.9	1.4	29.5	31.7	14.4	2.2	10.1
	公務員・教員	22	9.1	9.1	13.6	0.0	27.3	4.5	27.3	9.1	18.2
	農・林・漁業	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	104	17.3	3.8	8.7	0.0	26.9	37.5	9.6	1.9	14.4
	主婦・主夫(専業)	101	29.7	9.9	12.9	4.0	33.7	31.7	5.9	4.0	9.9
	学生	14	7.1	7.1	0.0	7.1	28.6	21.4	14.3	21.4	14.3
	無職	152	35.5	11.8	15.1	3.3	30.3	32.2	7.2	2.0	5.3
	その他	24	41.7	8.3	25.0	4.2	12.5	12.5	12.5	4.2	16.7
行政区	門司区	63	30.2	9.5	11.1	0.0	34.9	27.0	17.5	1.6	11.1
	小倉北区	88	25.0	5.7	13.6	2.3	35.2	29.5	9.1	2.3	11.4
	小倉南区	128	32.0	4.7	10.9	3.1	28.1	28.1	8.6	3.9	11.7
	若松区	64	25.0	10.9	9.4	4.7	26.6	31.3	9.4	1.6	10.9
	八幡東区	50	30.0	8.0	18.0	4.0	36.0	26.0	12.0	0.0	6.0
	八幡西区	172	27.3	8.7	10.5	1.2	29.1	29.7	7.6	4.1	10.5
	戸畑区	32	15.6	0.0	12.5	3.1	9.4	43.8	15.6	6.3	6.3

■ 経年比較

年度	サンプル数	自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから	ボランティアの研修や講習会に参加して、興味を持ったから	イベントに参加して楽しかったから	テレビや新聞、情報誌などを見て興味を持ったから	周囲の人に参加を勧められたから	入居する集合住宅に自治会加入が規定されていたから	その他	わからない	無回答
令和5年度	597	27.6	7.2	11.7	2.3	29.6	29.6	10.1	3.0	10.4
平成30年度	551	33.8	7.6	14.2	3.1	28.7	34.1	9.6	1.6	8.2
平成26年度	664	37.7	9.3	13.1	3.2	26.7	30.4	8.7	2.0	11.2

(注) **太字** 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動に参加したきっかけ

【 全体的傾向 】

「地域活動」に参加したきっかけは、「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」と「周囲の人に参加を勧められたから」が各 29.6%と最も多く、次いで「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(27.6%)となっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 男性では「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」が32.1%であるが、女性では24.9%となっており、男性の方が7.2ポイント多くなっている。

《年齢別にみると》

- 年齢が高くなるほど「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」、「イベントに参加して楽しかったから」は概ね多くなる傾向にある。

《居住年数別にみると》

- 10年未満の回答者が少ないため、図表に示すのみとする。

《職業別にみると》

- 差はみられるが、傾向として特に指摘するような点はみられない。

《行政区別にみると》

- 行政区で差の大きい上位項目としては、「周囲の人に参加を勧められたから」(八幡東区 36.0%、戸畑区 9.4%:26.6ポイント差)、「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」(戸畑区 43.8%、八幡東 26.0%:17.8ポイント差)、「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(小倉南区 32.0%、戸畑区 15.6%:16.4ポイント差)などである。

【 経年比較 】

「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(平成 26 年度 37.7%→平成 30 年度 33.8%→今年度 27.6%)は減少しているが、「周囲の人に参加を勧められたから」(平成 26 年度 26.7%→平成 30 年度 28.7%→今年度 29.6%)は増加している。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 会社での呼びかけにて。
- ・ 自治会の役員になったから。
- ・ 担当になり参加することが義務だったから。
- ・ PTA で活動しなければならなかったから。
- ・ 町内会に入っているから。

- ・ 当番のため。
- ・ 学校関係
- ・ 職場が道路サポーターなので。
- ・ 町内会で当番になったから。
- ・ RTA を通じて活動を知ったから。
- ・ 地域の草刈りに参加、住みづらくなるから。
- ・ 自治会長より誘いがあったから。学校で活動しなければならなかったから。
- ・ 幼い頃から参加していたから。
- ・ 町内住民が高齢で役員出来る人がいないため。
- ・ その地域で気持ちよく、安心・安全に過ごすためには、自治会、町内会が必要と考えている。しかし、現在、自治会を脱会する人も多くなり、残り損という感覚も覚える。それぞれの自治会のあり方、活動内容等を見直さねばならない時に来ていると思う。
- ・ くじで当たったから。
- ・ 引っ越した地域がほぼ皆加入していたから。加入しないわけにはいかなかった。
- ・ 町内会の規定で順番だから。
- ・ 勤めていた会社からの参加募集。
- ・ 災害の復興支援をしたいと思ったから。
- ・ 開発行為でできた住宅街の町内会長さんに入会を勧められた。
- ・ 老人会で公園の草取り、花壇の花植えなど。
- ・ 所属する企業でボランティア活動を行っており、使命感で参加した。
- ・ 毎月 1 回清掃活動に参加しないと罰金を払わないといけないから。
- ・ 大学の実習先が NPO
- ・ クラブチームに所属しているから。
- ・ 大学で地域参加する部に所属していたから。

(15) -4 地域活動に参加しない理由

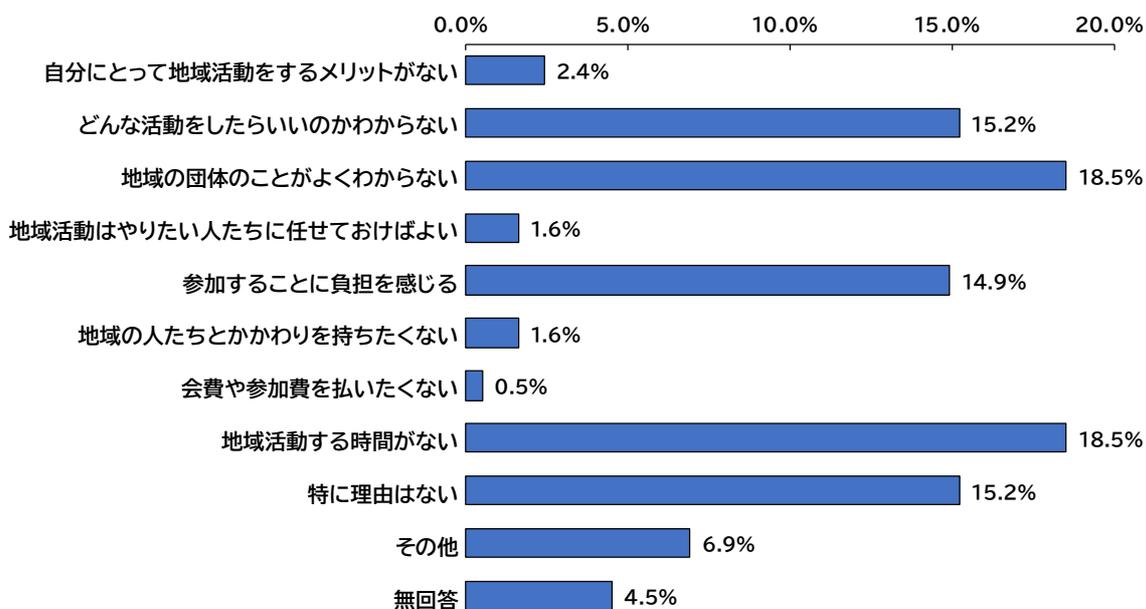
副問17-4 問17で2を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から 1 つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=551人

項 目	回答数	割合
1 自分にとって地域活動をするメリットがない	13	2.4%
2 どんな活動をしたらいいのかわからない	84	15.2%
3 地域の団体のことがよくわからない	102	18.5%
4 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい	9	1.6%
5 参加することに負担を感じる	82	14.9%
6 地域の人たちとかかわりを持ちたくない	9	1.6%
7 会費や参加費を払いたくない	3	0.5%
8 地域活動する時間がない	102	18.5%
9 特に理由はない	84	15.2%
10 その他	38	6.9%
無回答	25	4.5%

◆ 市民の満足度は、

1位 地域の団体のことがよくわからない	18.5%
2位 地域活動する時間がない	18.5%
3位 どんな活動をしたらいいのかわからない	15.2%



副問17-4 地域活動に参加しない理由

(単位:%)

	サンプル数	自分にとって地域活動をするメリットがない	どんな活動をしたらいいのかわからない	地域の団体のことがよくわからない	地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい	参加することに負担を感じる	地域の人たちがかわりを持ちたくない	会費や参加費を払いたくない	地域活動する時間がない	特に理由はない	その他	無回答	
全体	551	2.4	15.2	18.5	1.6	14.9	1.6	0.5	18.5	15.2	6.9	4.5	
性別	男	239	2.5	14.2	20.1	1.3	15.5	2.1	0.0	18.8	16.3	5.0	4.2
	女	306	2.3	16.0	17.3	2.0	14.4	1.3	1.0	18.6	14.1	8.5	4.6
年齢	10・20歳代	46	8.7	15.2	23.9	4.3	6.5	0.0	0.0	19.6	15.2	2.2	4.3
	30歳代	69	1.4	10.1	26.1	0.0	14.5	0.0	1.4	23.2	15.9	5.8	1.4
	40歳代	80	1.3	10.0	16.3	2.5	11.3	1.3	32.5	8.8	11.3	3.8	
	50歳代	83	1.2	18.1	16.9	1.2	12.0	4.8	1.2	18.1	13.3	7.2	6.0
	60歳代	113	4.4	20.4	15.0	2.7	22.1	1.8	0.0	20.4	8.0	4.4	0.9
	70歳以上	155	0.6	14.8	18.1	0.6	15.5	1.3	0.0	8.4	23.9	8.4	8.4
居住年数	1年未満	5	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	
	1年以上2年未満	13	7.7	7.7	46.2	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0
	2年以上3年未満	7	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0
	3年以上5年未満	29	6.9	6.9	31.0	0.0	6.9	0.0	0.0	6.9	27.6	6.9	6.9
	5年以上10年未満	32	3.1	18.8	9.4	0.0	9.4	0.0	3.1	34.4	12.5	6.3	3.1
	10年以上20年未満	72	1.4	12.5	20.8	2.8	15.3	2.8	1.4	18.1	16.7	2.8	5.6
	20年以上30年未満	64	3.1	21.9	10.9	0.0	12.5	1.6	0.0	29.7	7.8	6.3	6.3
	30年以上	324	1.5	15.7	17.6	1.9	17.3	1.9	0.3	16.4	15.1	8.0	4.3
職業	自営業(商・エス・サービス業)	40	5.0	12.5	15.0	0.0	7.5	2.5	0.0	25.0	15.0	15.0	2.5
	自由業(医師・弁護士など)	7	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0
	会社員	194	1.0	15.5	19.6	0.5	13.4	1.0	0.0	27.8	12.9	5.2	3.1
	公務員・教員	14	0.0	28.6	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	21.4	0.0	14.3	7.1
	農・林・漁業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	64	3.1	20.3	23.4	3.1	15.6	1.6	1.6	18.8	9.4	1.6	1.6
	主婦・主夫(専業)	66	1.5	15.2	18.2	1.5	16.7	1.5	1.5	13.6	15.2	7.6	7.6
	学生	7	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0
	無職	125	4.0	13.6	14.4	3.2	17.6	3.2	0.0	4.8	20.8	9.6	8.8
	その他	27	3.7	7.4	22.2	0.0	18.5	0.0	3.7	11.1	29.6	3.7	0.0
行政区	門司区	64	1.6	17.2	10.9	3.1	14.1	4.7	0.0	14.1	18.8	6.3	9.4
	小倉北区	108	1.9	16.7	22.2	1.9	13.0	0.0	0.9	22.2	13.0	5.6	2.8
	小倉南区	114	4.4	12.3	20.2	1.8	17.5	0.9	1.8	14.9	15.8	8.8	1.8
	若松区	40	5.0	17.5	25.0	0.0	20.0	2.5	0.0	10.0	10.0	5.0	5.0
	八幡東区	39	0.0	12.8	15.4	5.1	10.3	2.6	0.0	23.1	15.4	12.8	2.6
	八幡西区	138	2.2	13.0	13.8	0.7	16.7	2.2	0.0	20.3	19.6	4.3	7.2
	戸畑区	48	0.0	22.9	27.1	0.0	8.3	0.0	0.0	22.9	6.3	10.4	2.1

■ 経年比較

年度	令和5年度	551	2.4	15.2	18.5	1.6	14.9	1.6	0.5	18.5	15.2	6.9	4.5
	平成30年度	490	3.1	17.8	15.5	3.1	13.7	0.6	1.0	21.4	17.1	5.3	1.4
	平成26年度	582	1.5	20.6	17.4	2.2	11.9	0.3	0.5	21.0	17.4	2.9	4.3

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動に参加しない理由

【 全体的傾向 】

「地域活動」に参加したことが「ない」理由は、「地域活動する時間がない」と「地域の団体のことがよくわからない」が各 18.5%と最も多く、次いで「どんな活動をしたらいいのかわからない」と「特に理由はない」が 15.2%、「参加することに負担を感じる」(14.9%)となっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- 30 歳代以下では、「地域の団体のことがよくわからない」、40 歳代では「地域活動する時間がない」、60 歳代では「参加することに負担を感じる」、70 歳以上では「特に理由はない」、
「が最も多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 10 年未満の回答者が少ないため、図表に示すのみとする。

《職業別にみると》

- 回答者が少ない職種が多いため、図表に示すのみとする。

《行政区別にみると》

- 行政区で差の大きい上位項目としては、「地域の団体のことがよくわからない」(戸畑区 27.1%、門司区 10.9%:16.2 ポイント差)、「地域活動する時間がない」(八幡東区 23.1%、若松区 10.0%:13.1 ポイント差)、「どんな活動をしたらいいのかわからない」(戸畑区 22.9%、小倉南区 12.3%:10.6 ポイント差)などである。

【 経年比較 】

「どんな活動したらよいかかわからない」(平成 26 年度 20.6%→平成 30 年度 17.8%→今年度 15.2%)が減少している以外は、大きな変化はみられない。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 仕事の都合上、平日休みなので参加できない。
- ・ 時間がない。
- ・ 自治会活動でいくと父親が参加しているため。
- ・ 自分や家族の体が悪いため。
- ・ 引っ越してきて期間が浅い。
- ・ 地域活動をする具体的な理由が今はない。やりたくないことではない。
- ・ 年齢のため。
- ・ 興味はあるがどんな活動があるのか、何時、どこで募集しているのかわからない。

- ・ 転居して間がないのでわからない。
- ・ チャンスがない。
- ・ 人間関係が煩わしい。
- ・ マンション住まいで町内会に入っていない。子ども会、老人会等の対象者がいない。
- ・ どうやって申し込むかわからない。また、敷居が高そうなので。
- ・ 外部団体との防災協定が少ない。市民、個人に頼りすぎでは。
- ・ 仕事をしているので時間が取れない。
- ・ 依頼に応じて参加できるようにしたい。
- ・ 地域住民の人材の掘り起こしに期待する。
- ・ 妻が自治委員をしていた。
- ・ 学校や企業に属していないので、情報が入ってこない。
- ・ 単身赴任でほとんど北九州にいない。
- ・ 活動するグループがない。
- ・ 地域の崩壊、高齢化ゆえ
- ・ 自治体の方の年齢が高すぎて入っていけない。
- ・ 身近な自治会や町内会等の空気感、雰囲気が悪く参加が難しいこと。
- ・ 両親が参加しているから。

(16) 地域活動を支える大切な団体は何か

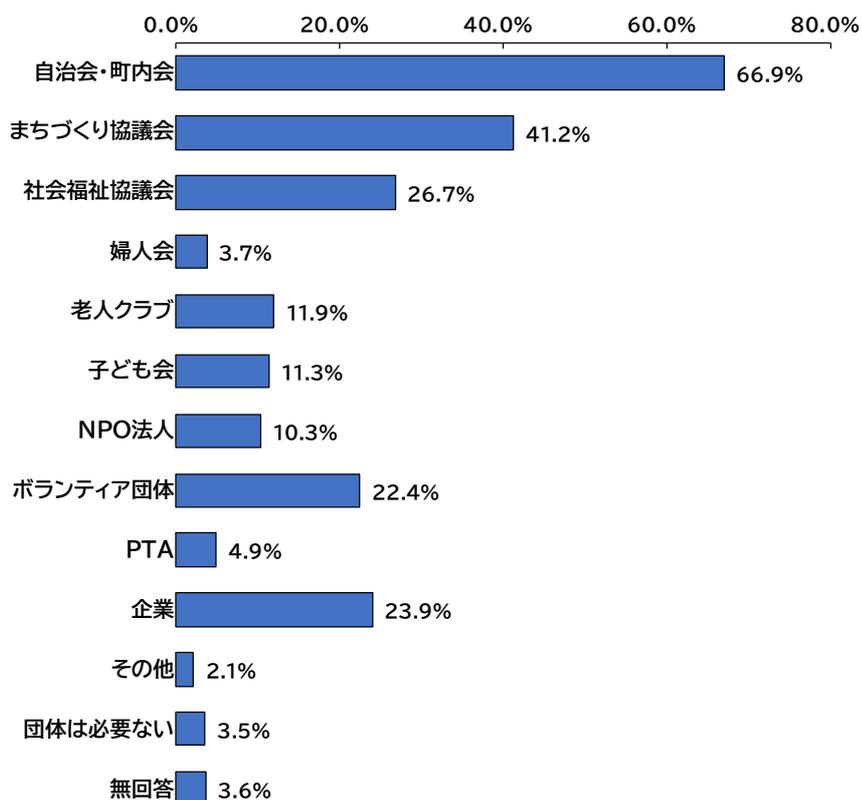
問18 これからの地域活動を支える大切な団体は何と思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

項目	回答数	割合
1 自治会・町内会	784	66.9%
2 まちづくり協議会	483	41.2%
3 社会福祉協議会	313	26.7%
4 婦人会	43	3.7%
5 老人クラブ	140	11.9%
6 子ども会	132	11.3%
7 NPO法人	121	10.3%
8 ボランティア団体	262	22.4%
9 PTA	58	4.9%
10 企業	280	23.9%
11 その他	25	2.1%
12 団体は必要ない	41	3.5%
無回答	42	3.6%

◆ 市民の満足度は、

1位 自治会・町内会	66.9%
2位 まちづくり協議会	41.2%
3位 社会福祉協議会	26.7%



問18 地域活動を支える大切な団体は何か

(単位:%)

		サンプル数	自治会・町内会	まちづくり協議会	社会福祉協議会	婦人会	老人クラブ	子ども会	NPO法人	ボランティア団体	P T A	企業	その他	団体は必要ない	無回答
全 体		1172	66.9	41.2	26.7	3.7	11.9	11.3	10.3	22.4	4.9	23.9	2.1	3.5	3.6
性別	男	468	67.3	42.3	22.2	3.2	13.2	12.8	12.2	24.8	4.3	28.0	1.5	3.2	1.7
	女	695	66.9	40.4	29.8	3.9	10.9	10.1	9.2	20.7	5.5	21.2	2.6	3.7	4.6
年齢	10・20歳代	68	60.3	41.2	13.2	0.0	4.4	16.2	16.2	25.0	8.8	39.7	0.0	1.5	2.9
	30歳代	107	59.8	40.2	16.8	4.7	7.5	22.4	9.3	12.1	5.6	28.0	1.9	8.4	0.0
	40歳代	144	55.6	38.2	17.4	2.1	9.0	16.7	15.3	20.8	6.9	33.3	3.5	6.9	0.7
	50歳代	190	62.6	43.2	23.2	3.2	10.0	5.3	12.1	25.3	4.7	34.2	3.7	3.7	1.6
	60歳代	234	67.5	35.0	28.2	2.1	9.4	11.1	14.1	25.6	4.7	26.1	0.4	3.8	4.3
	70歳以上	421	75.5	44.9	35.4	5.5	17.3	8.3	5.2	21.9	3.8	11.2	2.4	1.2	5.9
居住年数	1年未満	7	57.1	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
	1年以上2年未満	16	62.5	43.8	25.0	12.5	0.0	18.8	6.3	50.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0
	2年以上3年未満	9	55.6	44.4	0.0	0.0	44.4	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
	3年以上5年未満	41	53.7	41.5	17.1	0.0	7.3	17.1	12.2	12.2	4.9	56.1	2.4	2.4	0.0
	5年以上10年未満	45	48.9	48.9	13.3	0.0	6.7	20.0	13.3	22.2	4.4	26.7	2.2	2.2	2.2
	10年以上20年未満	118	56.8	33.9	22.9	2.5	5.9	16.1	10.2	21.2	11.0	23.7	0.8	10.2	4.2
	20年以上30年未満	129	64.3	37.2	17.8	3.9	11.6	14.0	10.9	22.5	5.4	27.1	3.1	3.1	3.1
	30年以上	798	71.1	42.4	30.2	4.0	13.3	9.0	10.2	22.6	4.1	21.6	2.1	2.6	3.9
職業	自営業(商・工・サービス業)	72	59.7	40.3	22.2	2.8	19.4	11.1	8.3	12.5	5.6	23.6	5.6	6.9	4.2
	自営業(医師・弁護士など)	13	69.2	53.8	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	15.4	15.4	46.2	0.0	7.7	0.0
	会社員	335	62.7	40.0	18.2	3.0	10.1	13.1	13.7	24.8	4.5	36.4	2.7	3.6	1.8
	公務員・教員	36	52.8	38.9	27.8	0.0	8.3	13.9	16.7	30.6	2.8	25.0	5.6	11.1	0.0
	農・林・漁業	3	100.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	169	63.9	42.0	23.7	3.0	9.5	11.2	8.3	20.7	5.9	23.7	0.6	4.7	5.3
	主婦・主夫(専業)	172	75.0	45.9	36.6	4.1	11.6	11.0	8.7	17.4	4.1	14.5	1.2	1.7	5.2
	学生	22	63.6	40.9	18.2	0.0	9.1	4.5	18.2	22.7	13.6	45.5	0.0	0.0	0.0
	無職	289	74.0	41.2	33.2	4.2	12.5	9.0	7.3	23.9	4.5	12.5	2.1	2.8	4.2
	その他	51	58.8	29.4	37.3	9.8	19.6	13.7	15.7	29.4	5.9	23.5	2.0	0.0	3.9
行政区	門司区	129	65.9	38.8	31.8	2.3	9.3	7.8	10.9	20.9	5.4	19.4	1.6	6.2	3.9
	小倉北区	199	64.8	44.2	26.1	4.5	7.5	9.0	10.1	22.6	3.0	30.2	3.0	3.5	3.0
	小倉南区	247	70.0	36.8	25.5	4.5	16.6	14.6	8.9	21.5	6.5	20.6	1.6	3.2	2.8
	若松区	109	65.1	39.4	27.5	6.4	19.3	11.9	10.1	23.9	3.7	22.9	0.9	6.4	1.8
	八幡東区	91	71.4	52.7	27.5	2.2	14.3	6.6	13.2	26.4	4.4	20.9	2.2	1.1	2.2
	八幡西区	316	63.9	40.8	23.1	2.5	9.8	13.3	10.1	24.1	5.7	26.3	2.5	2.5	4.7
	戸畑区	81	72.8	42.0	35.8	3.7	8.6	8.6	12.3	13.6	3.7	21.0	2.5	2.5	6.2

■ 経年比較

年度	サンプル数	自治会・町内会	まちづくり協議会	社会福祉協議会	婦人会	老人クラブ	子ども会	NPO法人	ボランティア団体	P T A	企業	その他	団体は必要ない	無回答
令和5年度	1172	66.9	41.2	26.7	3.7	11.9	11.3	10.3	22.4	4.9	23.9	2.1	3.5	3.6
平成30年度	1053	74.8	39.0	27.0	5.2	14.3	13.2	11.3	24.1	8.9	22.0	2.6	2.5	2.5
平成26年度	1275	75.4	41.5	26.9	5.3	16.5	15.1	7.7	22.8	6.9	19.8	0.5	2.4	4.9

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域活動を支える大切な団体は何か

【全体的傾向】

これからの地域活動を支える大切な団体は、「自治会・町内会」(66.9%)が最も多く、次いで「まちづくり協議会」(41.2%)、「社会福祉協議会」(26.7%)の順となっている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 男性では「企業」が28.0%であるが、女性では21.2%となっており、男性の方が6.8ポイント多い。
- 女性では「社会福祉協議会」が29.8%であるが、男性では22.2%となっており、女性の方が7.6ポイント多い。

《年齢別にみると》

- 年代を通して「自治会・町内会」と「まちづくり協議会」が多くなっているが、10・20代では「企業」(39.7%)も多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 20年以上では「自治会・町内会」が多くなっているが、3年以上5年未満では「企業」(56.1%)、5年以上10年未満では「まちづくり協議会」(48.9%)が多くなっている。

《職業別にみると》

- 職種を通じて「自治会・町内会」と「まちづくり協議会」が多いが、会社員では「企業」(36.4%)、公務員・教員では「ボランティア団体」(30.6%)、主婦・主夫(専業)では「社会福祉協議会」(36.6%)も多くなっている。

《行政区別にみると》

- 行政区で差の大きい上位項目としては、「まちづくり協議会」(八幡東区 52.7%、小倉南区 36.8%:15.9ポイント差)、「社会福祉協議会」(戸畑区 35.8%、八幡西区 23.1%:12.7ポイント差)などである。

【経年比較】

「自治会・町内会」(平成26年度75.4%→平成30年度74.8%→今年度66.9%)、「老人クラブ」(平成26年度16.5%→平成30年度14.3%→今年度11.9%)、「子ども会」(平成26年度15.1%→平成30年度13.2%→今年度11.3%)が減少し、「企業」(平成26年度19.8%→平成30年度22.0%→今年度23.9%)が増加している。

【自由記述の回答状況】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 若者が参加する団体
- ・ ママ会
- ・ 北九州法面防災協会
- ・ 市民センター
- ・ ボランティアは個人で団体はいらない。

(17) 自治会・町内会の活動内容の認知度

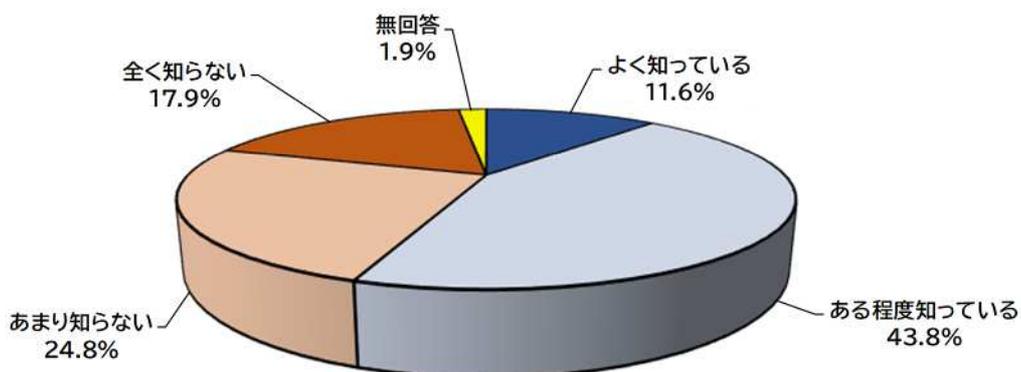
問19 あなたの住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているか知っていますか。
次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

項 目	回答数	割合
1 よく知っている	136	11.6%
2 ある程度知っている	513	43.8%
3 あまり知らない	291	24.8%
4 全く知らない	210	17.9%
無回答	22	1.9%

◆ 自治会・町内会の活動について、

・ 認 知 層 ======>	55.4%
「よく知っている」 + 「ある程度知っている」	(11.6%) + (43.8%)
・ 非 認 知 層 ======>	42.7%
「あまり知らない」 + 「全く知らない」	(24.8%) + (17.9%)



問19 自治会・町内会の活動内容の認知度

		■ よく知っている □ ある程度知っている □ あまり知らない ■ 全く知らない ■ 無回答										認知層	非認知層	
		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%			100%
性別	全体 (N=1172)	11.6		43.8				24.8		17.9		1.9	55.4	42.7
	男 (N=468)	13.0		41.2				24.8		19.0		1.9	54.2	43.8
	女 (N=695)	10.6		45.9				24.7		16.8		1.9	56.5	41.5
年齢	10・20歳代 (N=68)	2.9	23.5		29.4				41.2			2.9	26.4	70.6
	30歳代 (N=107)	4.7	28.0		26.2				41.1			0.0	32.7	67.3
	40歳代 (N=144)	5.6	41.7			29.9			22.2			0.7	47.3	52.1
	50歳代 (N=190)	10.5	36.3			34.2			18.4			0.5	46.8	52.6
	60歳代 (N=234)	9.4		51.7			23.5		14.1			1.3	61.1	37.6
	70歳以上 (N=421)	18.5		51.3			18.3		8.3	3.6			69.8	26.6
居住年数	1年未満 (N=7)	0.0	14.3	14.3				71.4				0.0	14.3	85.7
	1年以上2年未満 (N=16)	0.0	6.3	31.3				62.5				0.0	6.3	93.8
	2年以上3年未満 (N=9)	0.0	11.1	44.4				44.4				0.0	11.1	88.8
	3年以上5年未満 (N=41)	2.4	22.0		29.3				46.3			0.0	24.4	75.6
	5年以上10年未満 (N=45)	6.7	28.9		22.2				37.8	4.4			35.6	60.0
	10年以上20年未満 (N=118)	7.6	32.2		28.0				30.5			1.7	39.8	58.5
	20年以上30年未満 (N=129)	8.5	40.3		28.7				20.9			1.6	48.8	49.6
	30年以上 (N=798)	13.9		49.7			23.3		11.0			2.0	63.6	34.3
職業	自営業(商・工・サービス業) (N=72)	12.5		37.5				26.4		23.6		0.0	50.0	50.0
	自由業(医師・弁護士など) (N=13)	7.7		69.2				15.4		7.7		0.0	76.9	23.1
	会社員 (N=335)	6.9	36.7			31.3			23.6			1.5	43.6	54.9
	公務員・教員 (N=36)	8.3	41.7			25.0			25.0			0.0	50.0	50.0
	農・林・漁業 (N=3)	0.0		100.0								0.0	100.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど) (N=169)	8.9		55.6			20.7		13.0			1.8	64.5	33.7
	主婦・主夫(専業) (N=172)	19.2		41.9			20.9		14.5	3.5			61.1	35.4
	学生 (N=22)	4.5	22.7		40.9				31.8			0.0	27.2	72.7
	無職 (N=289)	14.9		50.2			20.8		11.4	2.8			65.1	32.2
	その他 (N=51)	13.7	35.3			23.5			27.5			0.0	49.0	51.0
行政区	門司区 (N=129)	10.9		42.6				27.1		15.5		3.9	53.5	42.6
	小倉北区 (N=199)	7.5	37.7			24.1			28.6			2.0	45.2	52.7
	小倉南区 (N=247)	13.4		43.7			26.3		15.8			0.8	57.1	42.1
	若松区 (N=109)	11.0		49.5			22.0		15.6			1.8	60.5	37.6
	八幡東区 (N=91)	14.3		48.4			24.2		12.1			1.1	62.7	36.3
	八幡西区 (N=316)	13.3		47.2			22.5		15.8			1.3	60.5	38.3
	戸畑区 (N=81)	8.6	34.6			32.1			19.8		4.9		43.2	51.9
	(注) 数字 全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)													
経年比較	今年度 (N=1172)	11.6		43.8				24.8		17.9		1.9	55.4	42.7
	平成30年度 (N=1053)	11.8		45.2				27.5		13.6		1.9	57.0	41.1
	平成26年度 (N=1275)	12.1		46.4			26.0		11.8	3.8			58.5	37.8

自治会・町内会の活動内容の認知度

【 全 体 的 傾 向 】

住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているか知っているかを尋ねたところ、「ある程度知っている」(43.8%)が最も多く、次いで「あまり知らない」(24.8%)、「全く知らない」(17.9%)の順となっている。

「よく知っている」(11.6%)と「ある程度知っている」を合わせた『認知層』は 55.4%と5割半となった一方、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた『非認知層』は 42.7%で4割強となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- 年齢が高くなるほど、『認知層』も概ね多くなる傾向にあり、70歳以上では「よく知っている」が18.5%、「ある程度知っている」が51.3%、60歳代でも51.7%と多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 居住年数が長くなるほど、『認知層』も概ね多くなる傾向にある。

《職業別にみると》

- 主婦・主夫(パート等)、主婦・主夫(専業)、無職では『認知層』が6割を超えている。

《行政区別にみると》

- 八幡東区、八幡西区、戸畑区では『認知層』が6割台であるが、戸畑区、小倉北区では4割台にとどまっている。

【 経 年 比 較 】

平成26年度以降、大きな変化はみられないものの、『認知層』(平成26年度58.5%→平成30年度57.0%→今年度55.4%)は微減している。

(17) -1 知っている自治会・町内会の活動

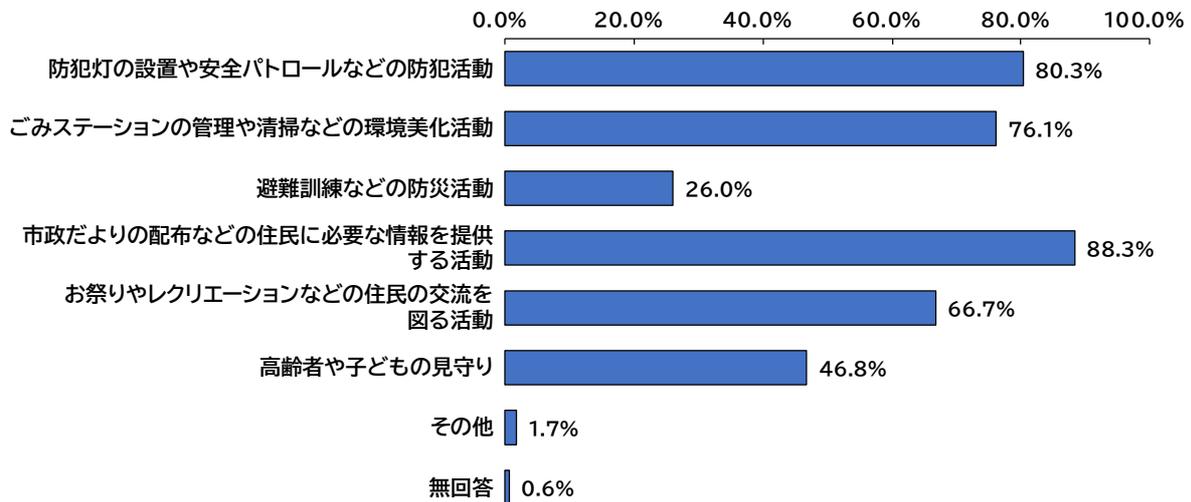
副問19-1 問19で1、2を選んだ方におたずねします。あなたが知っている地域の自治会・町内会の活動に当てはまるものすべて選んで、番号に○をつけてください。

N=649人

項目	回答数	割合
1 防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動	521	80.3%
2 ごみステーションの管理や清掃などの環境美化活動	494	76.1%
3 避難訓練などの防災活動	169	26.0%
4 市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動	573	88.3%
5 お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動	433	66.7%
6 高齢者や子どもの見守り	304	46.8%
7 その他	11	1.7%
無回答	4	0.6%

◆ 北九州市からの情報発信の方法について、

1位 市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動	88.3%
2位 防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動	80.3%
3位 ごみステーションの管理や清掃などの環境美化活動	76.1%



副問19-1 知っている自治会・町内会の活動

(単位:%)

		サンプル数	防犯灯の設置や安全パトロールなどの防	境美化活動	ごみステーションの管理や清掃などの環	避難訓練などの防災活動	市政だよりの配布などの住民に必要な情	報を提供する活動	お祭りやレクリエーションなどの住民の	交流を図る活動	高齢者や子どもの見守り	その他	無回答
全 体		649	80.3	76.1	26.0	88.3	66.7	46.8	1.7	0.6			
性別	男	254	78.7	77.2	24.4	85.8	62.2	39.4	1.2	0.4			
	女	393	81.2	75.3	27.0	89.8	69.7	51.7	1.8	0.8			
年齢	10・20歳代	18	66.7	88.9	27.8	77.8	66.7	38.9	0.0	0.0			
	30歳代	35	82.9	77.1	20.0	77.1	85.7	42.9	8.6	0.0			
	40歳代	68	72.1	80.9	35.3	85.3	77.9	41.2	2.9	0.0			
	50歳代	89	85.4	74.2	29.2	91.0	74.2	51.7	3.4	1.1			
	60歳代	143	76.9	74.8	25.2	90.9	70.6	49.0	0.0	1.4			
	70歳以上	294	82.7	75.2	23.8	88.8	57.8	46.6	0.7	0.3			
居住年数	1年未満	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0			
	1年以上2年未満	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	2年以上3年未満	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0			
	3年以上5年未満	10	70.0	80.0	10.0	60.0	70.0	50.0	10.0	0.0			
	5年以上10年未満	16	75.0	68.8	12.5	87.5	87.5	50.0	0.0	0.0			
	10年以上20年未満	47	72.3	66.0	36.2	87.2	76.6	34.0	0.0	2.1			
	20年以上30年未満	63	84.1	81.0	28.6	87.3	69.8	47.6	3.2	0.0			
	30年以上	508	81.1	76.6	25.6	89.2	65.0	47.8	1.4	0.6			
職業	自営業(商・エ・リ・ビ・業)	36	69.4	66.7	13.9	80.6	75.0	55.6	0.0	5.6			
	自由業(医師・弁護士など)	10	90.0	90.0	30.0	80.0	80.0	50.0	0.0	0.0			
	会社員	146	74.7	75.3	24.0	84.9	76.7	40.4	1.4	0.7			
	公務員・教員	18	72.2	72.2	38.9	100.0	61.1	44.4	16.7	0.0			
	農・林・漁業	3	66.7	33.3	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0			
	主婦・主夫(パートなど)	109	84.4	77.1	26.6	86.2	65.1	53.2	1.8	0.9			
	主婦・主夫(専業)	105	83.8	83.8	28.6	97.1	71.4	57.1	0.0	0.0			
	学生	6	83.3	100.0	33.3	83.3	83.3	50.0	0.0	0.0			
	無職	188	81.9	73.4	27.7	87.8	55.3	40.4	1.6	0.0			
その他	25	84.0	76.0	20.0	92.0	64.0	52.0	0.0	0.0				
行政区	門司区	69	87.0	75.4	21.7	91.3	60.9	49.3	5.8	0.0			
	小倉北区	90	68.9	70.0	23.3	92.2	67.8	46.7	1.1	2.2			
	小倉南区	141	80.9	72.3	23.4	85.8	70.2	45.4	2.8	1.4			
	若松区	66	90.9	77.3	33.3	83.3	68.2	47.0	0.0	0.0			
	八幡東区	57	82.5	82.5	35.1	94.7	64.9	47.4	1.8	0.0			
	八幡西区	191	79.1	82.2	27.2	86.4	66.5	48.7	0.5	0.0			
	戸畑区	35	77.1	62.9	17.1	91.4	62.9	37.1	0.0	0.0			

■ 経年比較

年度	サンプル数	防犯灯の設置や安全パトロールなどの防	境美化活動	ごみステーションの管理や清掃などの環	避難訓練などの防災活動	市政だよりの配布などの住民に必要な情	報を提供する活動	お祭りやレクリエーションなどの住民の	交流を図る活動	高齢者や子どもの見守り	その他	無回答
令和5年度	649	80.3	76.1	26.0	88.3	66.7	46.8	1.7	0.6			
平成30年度	600	80.2	72.7	34.7	91.7	75.8	51.8	2.5	0.2			
平成26年度	746	80.3	70.9	25.1	87.9	74.3	50.9	0.9	0.5			

(注) **太字** 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

知っている自治会・町内会の活動

【 全体的傾向 】

知っている地域の自治会・町内会の活動を尋ねたところ、「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(88.3%)が最も多く、次いで「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(80.3%)、ごみステーションの管理や清掃などの環境美化活動」(76.1%)、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(66.7%)の順となっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 男性では「高齢者や子どもの見守り」が 39.4%であるが、女性では 51.7%と、男性よりも 12.3 ポイント多くなっている。また、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」も男性の 62.2%に対して女性は 69.7%と、7.5 ポイント多くなっている。

《年齢別にみると》

- 30～50 歳代では、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」が多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 10 年未満の回答者が少ないため、図表に示すのみとする。

《職業別にみると》

- 差はみられるが、傾向として特に指摘するような点はみられない。

《行政区別にみると》

- 行政区で差の大きい上位項目としては、「ごみステーションの管理や清掃などの環境美化活動」(八幡東区 82.5%、戸畑区 62.9%:19.6 ポイント差)がある。

【 経年比較 】

「ごみステーションの管理や清掃などの環境美化活動」(平成 26 年度 70.9%→平成 30 年度 72.7%→今年度 76.1%)は平成 26 年度に比べて今年度は 5.2 ポイント増加し、逆に、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(平成 26 年度 74.3%→平成 30 年度 75.8%→今年度 66.7%)は平成 26 年度に比べて今年度は 7.6 ポイント減少している。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 公園の清掃等
- ・ 体育委員会、神社総代
- ・ 再生資源の回収。家庭で発生するゴミの区分の多様化の回収。
- ・ 運動会、古紙リサイクル
- ・ 社会福祉(社協)月に 1 回高齢者の見守り、お元気ですかのチラシ配布活動。
- ・ 学校行事に参加
- ・ 赤い羽募金

(18) 自治会・町内会への加入状況

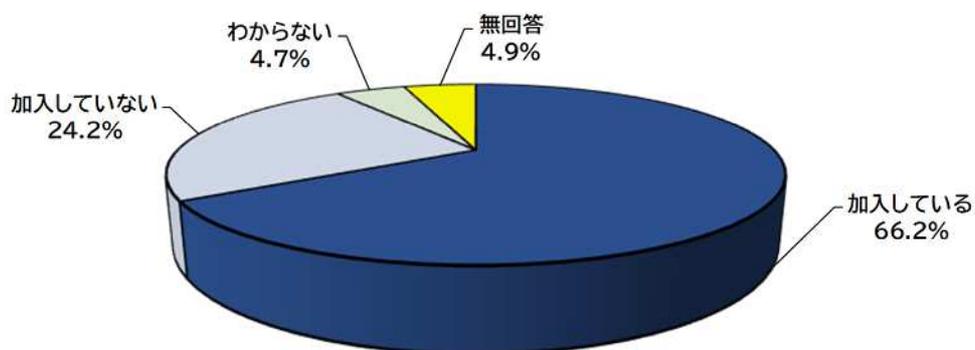
問20 あなた(あなたの世帯)は、自治会・町内会に、加入していますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

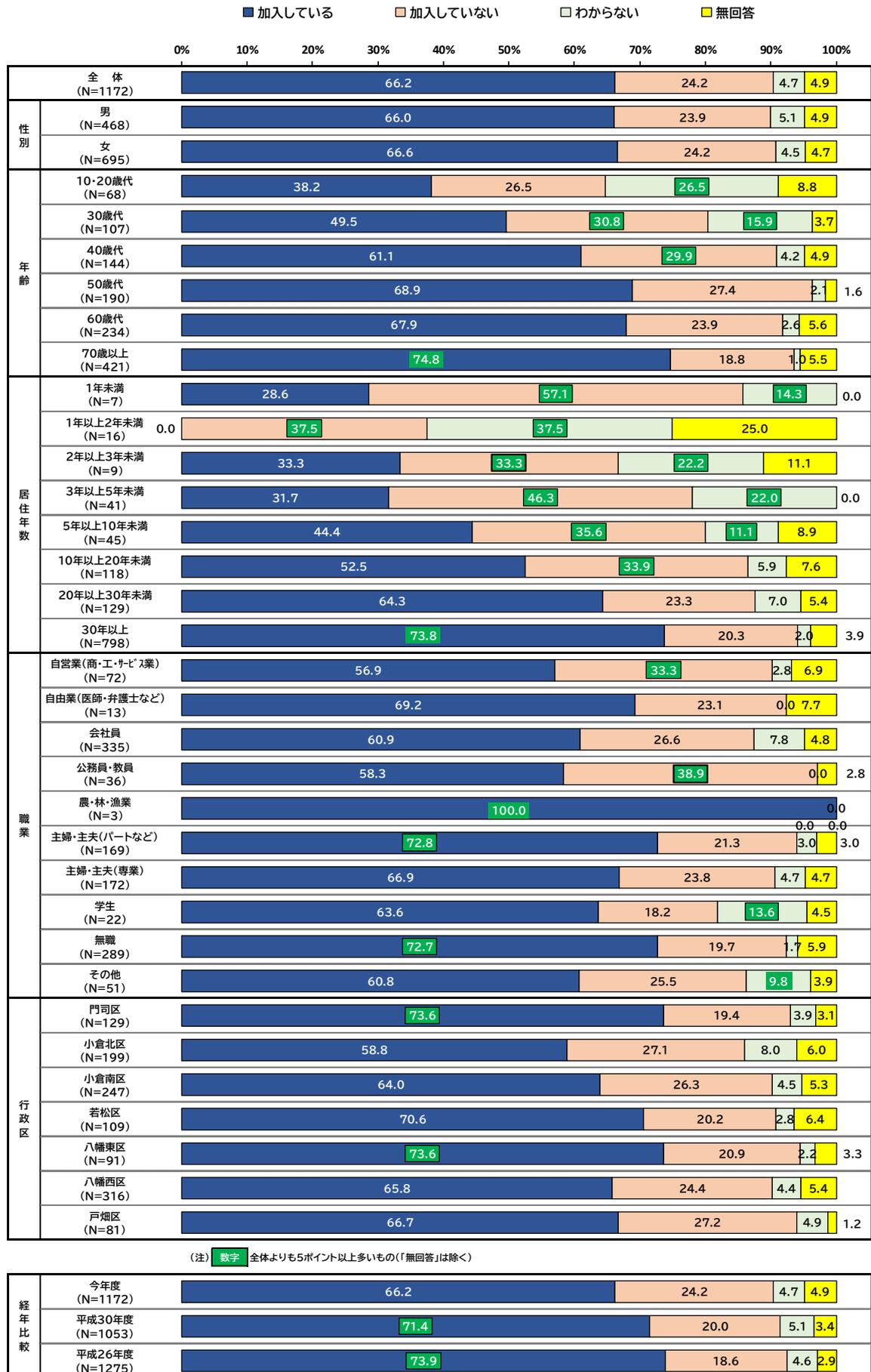
項 目	回答数	割合
1 加入している	776	66.2%
2 加入していない	284	24.2%
3 わからない	55	4.7%
無回答	57	4.9%

◆ 北九州市自治基本条例は、

1位 加入している	66.2%
2位 加入していない	24.2%
3位 わからない	4.7%



問20 自治会・町内会への加入状況



自治会・町内会への加入状況

【 全 体 的 傾 向 】

自治会・町内会への加入状況は、加入率(加入している)は 66.2%、「加入していない」(24.2%)を大きく上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- 年齢が高くなるほど加入率は概ね多くなる傾向にある。

《居住年数別にみると》

- 居住年数が長くなるほど加入率は概ね多くなる傾向にある。

《職業別にみると》

- 主婦・主夫(パートなど)、無職は加入率が多く、会社員、公務員・教員では少なくなっている。

《行政区別にみると》

- 門司区、八幡東区で加入率が 73.6%と最も多く、小倉北区で 58.8%と最も少なくなっている。

【 経 年 比 較 】

加入率は平成 26 年度 73.9%、平成 30 年度 71.4%、今年度 66.2%と減少しており、今年度は平成 26 年度に比べて 7.7 ポイント減少している。

(18) -1 加入していない理由

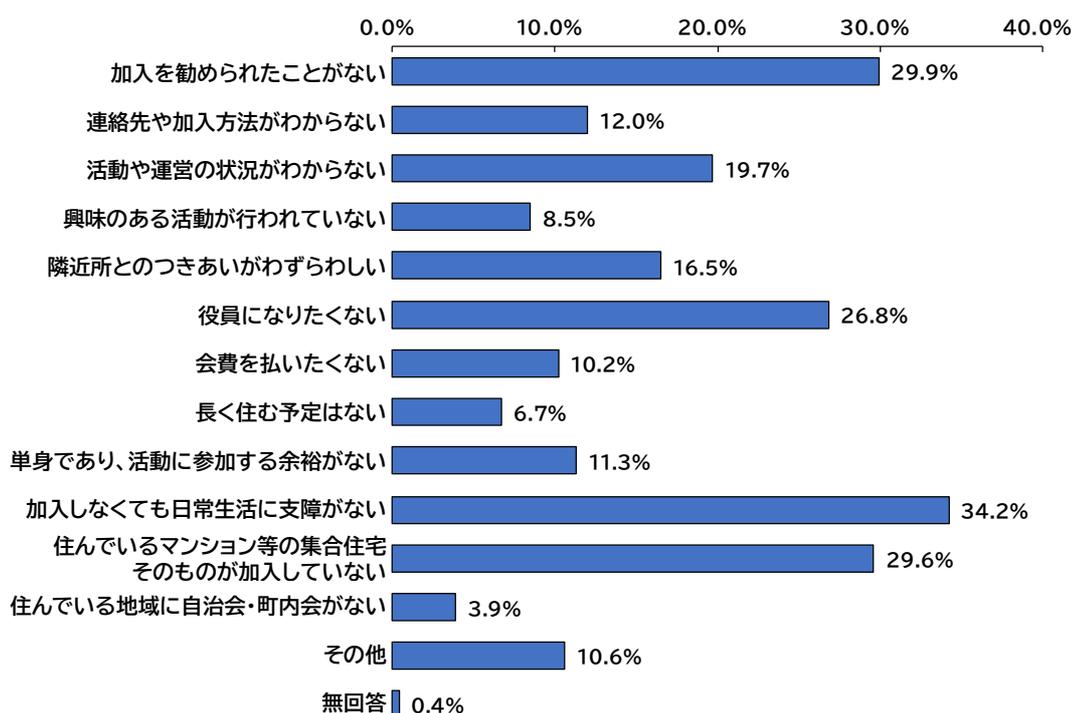
副問20-1 問20で2を選んだ理由について、次の中から当てはまるものすべてを選んで、番号に○をつけてください。

N=284人

項目	回答数	割合
1 加入を勧められたことがない	85	29.9%
2 連絡先や加入方法がわからない	34	12.0%
3 活動や運営の状況がわからない	56	19.7%
4 興味のある活動が行われていない	24	8.5%
5 隣近所とのつきあいがわずらわしい	47	16.5%
6 役員になりたくない	76	26.8%
7 会費を払いたくない	29	10.2%
8 長く住む予定はない	19	6.7%
9 単身であり、活動に参加する余裕がない	32	11.3%
10 加入しなくても日常生活に支障がない	97	34.2%
11 住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない	84	29.6%
12 住んでいる地域に自治会・町内会がない	11	3.9%
13 その他	30	10.6%
無回答	1	0.4%

◆ 市民の満足度は、

1位 加入しなくても日常生活に支障がない	34.2%
2位 加入を勧められたことがない	29.9%
3位 住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない	29.6%



副問20-1 加入していない理由

(単位:%)

		サンプル数	加入を勧められたことがない	連絡先や加入方法がわからない	活動や運営の状況がわからない	興味のある活動が行われていない	隣近所とのつきあいがわずらわしい	役員になりたくない	会費を払いたくない	長く住む予定はない	単身であり、活動に参加する余裕がない	加入しなくても日常生活に支障がない	住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない	住んでいる地域に自治会・町内会がない	その他	無回答
全体		284	29.9	12.0	19.7	8.5	16.5	26.8	10.2	6.7	11.3	34.2	29.6	3.9	10.6	0.4
性別	男	112	23.2	11.6	21.4	7.1	16.1	26.8	8.9	8.0	11.6	34.8	24.1	3.6	13.4	0.0
	女	168	33.9	12.5	17.9	9.5	16.7	26.2	10.1	6.0	11.3	33.9	33.9	4.2	8.9	0.6
年齢	10・20歳代	18	50.0	22.2	44.4	11.1	22.2	16.7	16.7	16.7	22.2	38.9	16.7	0.0	5.6	0.0
	30歳代	33	45.5	24.2	30.3	6.1	24.2	36.4	24.2	15.2	6.1	36.4	24.2	6.1	18.2	0.0
	40歳代	43	39.5	20.9	27.9	4.7	25.6	30.2	16.3	4.7	18.6	39.5	34.9	2.3	0.0	0.0
	50歳代	52	28.8	13.5	15.4	0.0	9.6	23.1	7.7	5.8	5.8	21.2	44.2	3.8	11.5	1.9
	60歳代	56	21.4	1.8	10.7	16.1	17.9	23.2	7.1	7.1	7.1	35.7	32.1	7.1	5.4	0.0
	70歳以上	79	19.0	6.3	12.7	11.4	11.4	27.8	2.5	2.5	13.9	36.7	21.5	2.5	17.7	0.0
居住年数	1年未満	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	6	66.7	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	2年以上3年未満	3	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満	19	47.4	15.8	21.1	0.0	5.3	10.5	5.3	31.6	10.5	31.6	31.6	0.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	16	50.0	25.0	25.0	6.3	18.8	25.0	25.0	18.8	12.5	25.0	37.5	6.3	6.3	0.0
	10年以上20年未満	40	47.5	17.5	30.0	7.5	20.0	27.5	17.5	10.0	10.0	37.5	37.5	2.5	5.0	0.0
	20年以上30年未満	30	26.7	6.7	10.0	3.3	23.3	30.0	6.7	3.3	10.0	46.7	43.3	6.7	10.0	0.0
	30年以上	162	19.8	10.5	17.3	10.5	15.4	29.6	7.4	1.9	11.1	33.3	23.5	4.3	14.8	0.6
職業	自営業(商・工・サービス業)	24	20.8	12.5	16.7	4.2	8.3	20.8	0.0	4.2	12.5	25.0	25.0	8.3	20.8	0.0
	自営業(医師・弁護士など)	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	89	37.1	21.3	27.0	11.2	21.3	32.6	19.1	7.9	12.4	38.2	29.2	2.2	5.6	1.1
	公務員・教員	14	21.4	14.3	28.6	0.0	7.1	14.3	7.1	0.0	7.1	14.3	50.0	14.3	14.3	0.0
	農・林・漁業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	36	33.3	5.6	16.7	8.3	13.9	27.8	8.3	5.6	8.3	30.6	38.9	5.6	5.6	0.0
	主婦・主夫(専業)	41	31.7	4.9	9.8	12.2	14.6	26.8	2.4	7.3	4.9	34.1	29.3	4.9	17.1	0.0
	学生	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	無職	57	17.5	5.3	12.3	5.3	21.1	24.6	8.8	5.3	14.0	43.9	22.8	0.0	14.0	0.0
その他	13	38.5	23.1	30.8	15.4	15.4	15.4	7.7	0.0	23.1	7.7	38.5	7.7	7.7	0.0	
行政区	門司区	25	20.0	8.0	16.0	0.0	12.0	20.0	4.0	0.0	0.0	36.0	36.0	0.0	16.0	0.0
	小倉北区	54	42.6	22.2	22.2	5.6	5.6	16.7	13.0	11.1	14.8	31.5	40.7	1.9	7.4	1.9
	小倉南区	65	36.9	9.2	23.1	10.8	20.0	23.1	10.8	7.7	9.2	36.9	26.2	4.6	12.3	0.0
	若松区	22	22.7	9.1	18.2	18.2	27.3	31.8	4.5	0.0	13.6	31.8	18.2	4.5	9.1	0.0
	八幡東区	19	15.8	0.0	15.8	10.5	21.1	31.6	15.8	0.0	5.3	42.1	26.3	5.3	5.3	0.0
	八幡西区	77	20.8	9.1	14.3	7.8	19.5	39.0	10.4	7.8	10.4	29.9	28.6	5.2	11.7	0.0
	戸畑区	22	40.9	22.7	31.8	9.1	13.6	18.2	9.1	9.1	27.3	40.9	22.7	4.5	9.1	0.0

■ 経年比較

年度	サンプル数	加入を勧められたことがない	連絡先や加入方法がわからない	活動や運営の状況がわからない	興味のある活動が行われていない	隣近所とのつきあいがわずらわしい	役員になりたくない	会費を払いたくない	長く住む予定はない	単身であり、活動に参加する余裕がない	加入しなくても日常生活に支障がない	住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない	住んでいる地域に自治会・町内会がない	その他	無回答
令和5年度	284	29.9	12.0	19.7	8.5	16.5	26.8	10.2	6.7	11.3	34.2	29.6	3.9	10.6	0.4
平成30年度	211	31.8	18.0	26.1	12.3	17.1	26.5	10.9	12.3	15.2	30.3	30.3	3.8	8.1	2.4
平成26年度	237	35.4	14.3	19.8	13.5	10.5	28.7	9.3	11.0	11.4	28.7	25.3	6.3	8.9	3.0

(注) **太字** 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

加入していない理由

【 全体的傾向 】

自治会・町内会に「加入していない」理由は、「加入しなくても日常生活に支障がない」(34.2%)が最も多く、次いで「加入を勧められたことがない」(29.9%)、「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」(29.6%)、「役員になりたくない」(26.8%)の順となっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 男性では「加入を勧められたことがない」が23.2%であるが、女性では33.9%となっており、女性の方が10.7ポイント多い。また、「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」も男性の24.1%に対して、女性は33.9%と、男性よりも9.8ポイント多くなっている。

《年齢別にみると》

- 年齢が低いほど、「加入を勧められたことがない」、「連絡先や加入方法がわからない」、「活動や運営の状況がわからない」は概ね多くなる傾向にある。
- 30・40歳代では「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」も多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 10年未満の回答者が少ないため、図表に示すのみとする。

《職業別にみると》

- 回答者が少ない職種が多いため、図表に示すのみとする。

《行政区別にみると》

- 門司区は「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」、小倉北区は「加入を勧められたことがない」、若松区と八幡西区は「役員になりたくない」、八幡東区は「加入しなくても日常生活に支障がない」、小倉南区と戸畑区は「加入を勧められたことがない」と「加入しなくても日常生活に支障がない」が最も多くなっている。

【 経年比較 】

「加入勧められたことはない」(平成26年度35.4%→平成30年度31.8%→今年度29.9%)、「興味のある活動が行われていない」(平成26年度13.5%→平成30年度12.3%→今年度8.5%)は減少し、「加入しなくても日常生活に支障がない」(平成26年度28.7%→平成30年度30.3%→今年度34.2%)は増加している。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- 魅力がない。
- 隣近所と距離があるため、回覧板等の配布に迷惑がかかる。

- ・ 自宅で介護人がいますのであまり外出できない。
- ・ 引っ越したばかりで、よく話す近所の人が加入していないから。
- ・ 威張る人が多いの(特に年配者)がいや。特に元会社の社長だとか役員だった人が会長になっているケースが多く、何を勘違いしているのか町内会を私物扱いしている。
- ・ 加入していたが、活動が負担になり辞めた。
- ・ 4年前までは加入していたが、一人になり脱会した。
- ・ 隣組の加入件数が減り、組で自治会加入を辞めた。
- ・ 80歳を超えて足腰が悪く、町内会の活動が負担になり辞めました。その後は市政だよりも配布なしです。
- ・ 加入の件で入居者の多数が関心を示さなかった。
- ・ 宗教が絡んでくるのがいや。
- ・ 区会のやり方に不満があり、メリットなしと判断し今年脱会。
- ・ 人間関係が苦手。
- ・ 町内会長、役員の任期が長く、活動に全く変化なくマンネリ化している。
- ・ 町費の使い込み。数十年役を変わらない。以前は加入していましたが、今は加入していない。
- ・ 今まであったが解散した。高齢化のため。
- ・ 40年間加入していました。高齢も一つの要因です。
- ・ 加入していたが家族が病気になり活動に参加できないので脱退を勧められた。失望した。
- ・ 仕事が忙しくお手伝い出来ないため。
- ・ 仕事があって時間がない。

(19) 住民主体のまちづくりの必要性

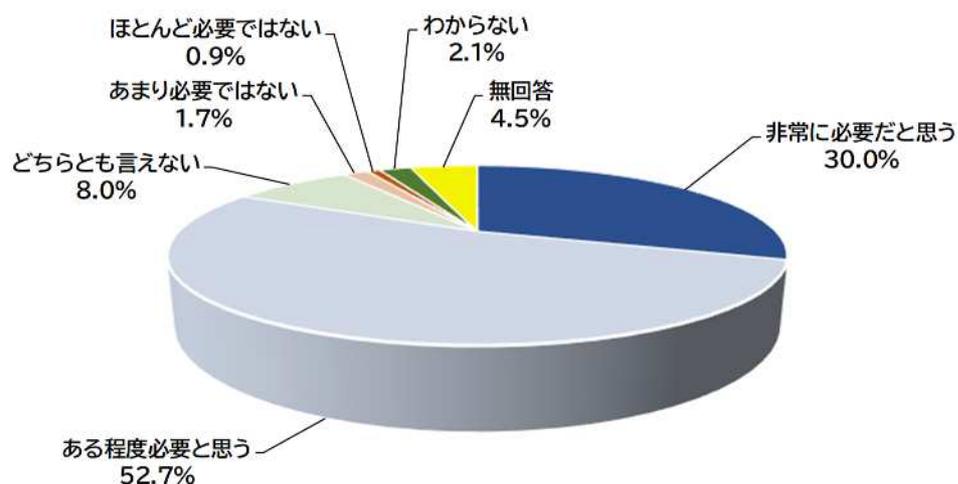
問21 高齢者や子どもの見守り、防災・防火活動など、同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくっていかこうとする活動が市内各地で行われていますが、あなたはこのような住民主体によるまちづくりは必要と思われますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

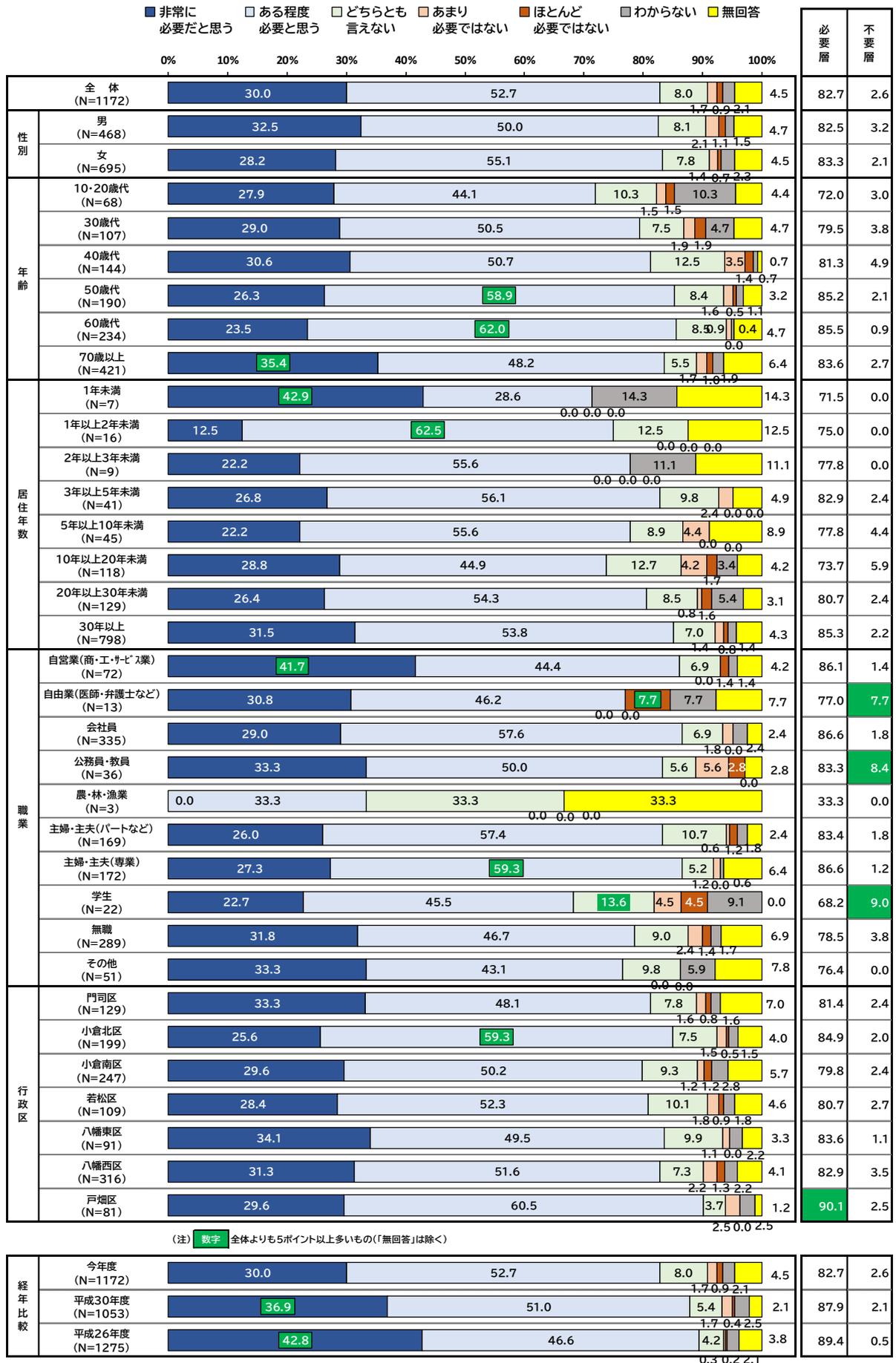
項 目	回答数	割合
1 非常に必要だと思う	352	30.0%
2 ある程度必要と思う	618	52.7%
3 どちらとも言えない	94	8.0%
4 あまり必要ではない	20	1.7%
5 ほとんど必要ではない	10	0.9%
6 わからない	25	2.1%
無回答	53	4.5%

◆ 住民主体によるまちづくりの必要は、

・ 必 要 層 ======>	82.7%
「非常に必要だと思う」 + 「ある程度必要だと思う」	(30.0%) + (52.7%)
・ 不 要 層 ======>	2.6%
「あまり必要でない」 + 「ほとんど必要でない」	(1.7%) + (0.9%)



問21 住民主体のまちづくりの必要性



住民主体のまちづくりの必要性

【 全 体 的 傾 向 】

住民主体によるまちづくりが必要かを尋ねたところ、「ある程度必要と思う」(52.7%)が最も多く、次いで「非常に必要だと思う」(30.0%)、「どちらとも言えない」(8.0%)の順となっている。

「非常に必要だと思う」と「ある程度必要と思う」を合わせた『必要層』は 82.7%で、8割強となった一方、「あまり必要でない」(1.7%)と「ほとんど必要でない」(0.9%)を合わせた『不要層』は 2.6%となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- 30歳代以下で『肯定層』が8割を下回っている。

《居住年数別にみると》

- 5年以上20年未満で『必要層』が8割を下回っている。

《職業別にみると》

- 無職、その他で『必要層』が8割を下回っている。

《行政区別にみると》

- 戸畑区で『必要層』が90.1%と最も多く、小倉南区で79.8%と最も少ない。

【 経 年 比 較 】

『必要層』(平成26年度 89.4%→平成30年度 87.9%→今年度 82.7%)は減少しており、特に「非常に必要だと思う」(平成26年度 42.8%→平成30年度 36.9%→今年度 30.0)が平成26年度に比べて今年度は12.8ポイント減少している。

(19) -1 住民主体のまちづくりは必要ないと考える理由

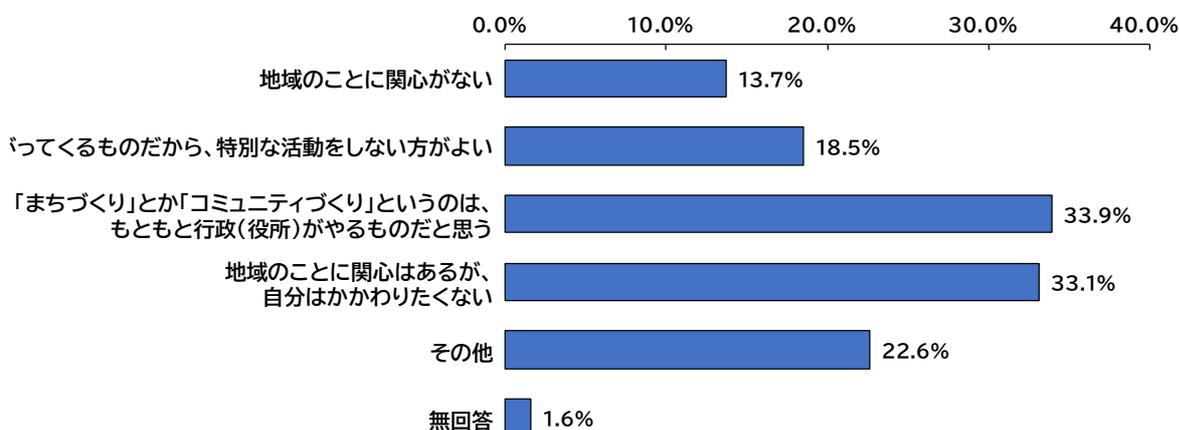
副問21-1 問21で3、4、5を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から2つまで選んで、番号に○をつけてください。

N=124人

項目	回答数	割合
1 地域のことに関心がない	17	13.7%
2 地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしない方がよい	23	18.5%
3 「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う	42	33.9%
4 地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない	41	33.1%
5 その他	28	22.6%
無回答	2	1.6%

◆ 北九州市からの情報発信の方法について、

1位 「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う	33.9%
2位 地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない	33.1%
3位 地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしない方がよい	18.5%



副問21-1 住民主体のまちづくりは必要ないと考える理由

(単位:%)

	サンプル数	地域のことに関心がない	地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしなくてもよい方がよい	「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う	地域のことに関心はあるが、自分ばかりでいい	その他	無回答	
全体	124	13.7	18.5	33.9	33.1	22.6	1.6	
性別	男	53	18.9	20.8	39.6	24.5	20.8	1.9
	女	69	8.7	17.4	30.4	39.1	24.6	1.4
年齢	10・20歳代	9	44.4	22.2	22.2	22.2	11.1	0.0
	30歳代	12	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	8.3
	40歳代	25	16.0	24.0	44.0	28.0	20.0	0.0
	50歳代	20	10.0	10.0	35.0	35.0	20.0	0.0
	60歳代	22	13.6	36.4	22.7	22.7	27.3	0.0
	70歳以上	34	8.8	14.7	41.2	47.1	17.6	2.9
居住年数	1年未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	2年以上3年未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満	5	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	5年以上10年未満	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0
	10年以上20年未満	22	18.2	18.2	45.5	40.9	18.2	0.0
	20年以上30年未満	14	28.6	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0
	30年以上	73	6.8	20.5	32.9	37.0	26.0	1.4
職業	自営業(商・工・サービス業)	6	16.7	16.7	50.0	16.7	50.0	0.0
	自由業(医師・弁護士など)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	会社員	29	13.8	17.2	41.4	17.2	31.0	0.0
	公務員・教員	5	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0
	農・林・漁業	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	21	4.8	23.8	38.1	47.6	4.8	0.0
	主婦・主夫(専業)	11	9.1	9.1	45.5	36.4	18.2	9.1
	学生	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	無職	37	13.5	18.9	29.7	43.2	21.6	0.0
	その他	5	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0
行政区	門司区	13	23.1	15.4	38.5	15.4	38.5	0.0
	小倉北区	19	0.0	10.5	47.4	42.1	26.3	5.3
	小倉南区	29	17.2	20.7	31.0	41.4	13.8	0.0
	若松区	14	7.1	14.3	35.7	28.6	28.6	7.1
	八幡東区	10	40.0	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0
	八幡西区	34	11.8	17.6	35.3	32.4	23.5	0.0
	戸畑区	5	0.0	60.0	0.0	40.0	20.0	0.0

■ 経年比較

年度	サンプル数	地域のことに関心がない	地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしなくてもよい方がよい	「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う	地域のことに関心はあるが、自分ばかりでいい	その他	無回答
令和5年度	124	13.7	18.5	33.9	33.1	22.6	1.6
平成30年度	79	15.2	16.5	35.4	38.0	16.5	3.8
平成26年度	60	13.3	16.7	23.3	38.3	16.7	11.7

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

住民主体のまちづくりは必要ないと考える理由

【 全体的傾向 】

住民主体のまちづくりが「どちらとも言えない」「あまり必要ではない」「ほとんど必要ではない」と思う理由は、『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う』(33.9%)が最も多く、次いで「地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない」(33.1%)となっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 男性は「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う」、女性は「地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない」が最も多くなっている。

《年齢別にみると》

- 回答者数が少ないため。図表に示すのみとする。

《居住年数別にみると》

- 回答者数が少ないため。図表に示すのみとする。

《職業別にみると》

- 回答者数が少ないため。図表に示すのみとする。

《行政区別にみると》

- 回答者数が少ないため。図表に示すのみとする。

【 経年比較 】

「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う」は平成26年度の23.3%から平成30年度は35.4%に増加し、今年度は33.9%に減少しているが、平成26年度に比べると10.6ポイント増加している。逆に、「地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない」は平成26年度の38.3%から平成30年度は38.0%、今年度は33.1%に、平成26年度と比べると、5.2ポイント減少している。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ごみや防犯灯など必要な管理もあるが、加入は任意。今後、町内会はやっていくのが難しくなる。無くなると困るような活動内容は住民が行うのか、お金を払って業者に頼むとか考えた方がよい。
- 市でやるべき
- 地域活動に参加する時間がない。退職して年金生活になれば積極的に参加できるかもしれないが、日本の経済状況を考えると、死ぬまで働かなければ生活できないため参加は難しい。
- 発信力が低下しています。
- 活動するメリットがないと負担でしかないと思う。
- 近所の掃除、草抜き、出来ることは自分です。

- 役員(当番制)になると負担が大きい。
- 今の時代にそぐわない。
- 関心はあるが、年齢、体力的に関われなくなっている。
- 町内会長が嫌い。
- 高齢化により活動できる人が少ない。ほぼいない。
- 住民と行政が協同して進めていくべきだと思う。
- 人間関係が苦手。
- 町内会なども高齢化で、若い人の負担が多く大変。辞めたい。
- こちらの状況にお構いなく、強制的に順に役が来る事が正しいと思えないから。
- 参加したい人、必要な人が自由な意志で行うべきものであるが、地域によっては全員が強制的、または半ば強制的に参加させられているから。
- 自主的な取り組みというより、与えられたものをただこなしているだけ。
- 各区役所職員を増やして、各自治会とのコミュニケーションをはかる。月1回は情報交換を行う。
- 親の介護で忙しい。つらい。苦しい。助けて欲しい。
- 自治会は年間行事が多くて、組長になるとほとんどの行事に参加しないといけないので、組長に当たると脱会する家が増えています。
- 町内の中で区別がおき公平性が欠けているため、必要性を感じない。

(20) 住民主体のまちづくりを進めるために行政がやるべきこと

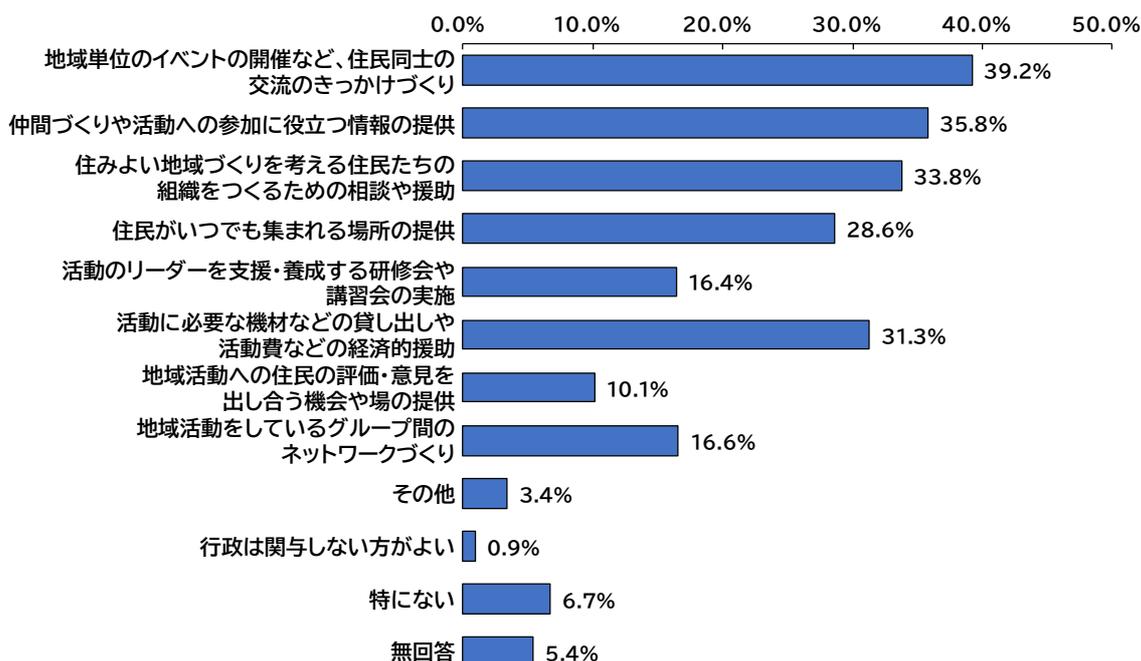
問22 あなたは、高齢者や子どもの見守り、防災・防火活動など、同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくっていかうとする活動を進めるために、行政は今後どのようなことに取り組むべきであると思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

項 目	回答数	割合
1 地域単位のイベントの開催など、住民同士の交流のきっかけづくり	460	39.2%
2 仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供	419	35.8%
3 住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助	396	33.8%
4 住民がいつでも集まれる場所の提供	335	28.6%
5 活動のリーダーを支援・養成する研修会や講習会の実施	192	16.4%
6 活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助	367	31.3%
7 地域活動への住民の評価・意見を出し合う機会や場の提供	118	10.1%
8 地域活動をしているグループ間のネットワークづくり	194	16.6%
9 その他	40	3.4%
10 行政は関与しない方がよい	11	0.9%
11 特にない	78	6.7%
無回答	63	5.4%

◆ 市民の満足度は、

1位 地域単位のイベントの開催など、住民同士の交流のきっかけづくり	39.2%
2位 仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供	35.8%
3位 住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助	33.8%



問2 住民主体のまちづくりを進めるために行政がやるべきこと

(単位:%)

	サンプル数	地域の交流のきっかけづくり	地域の交流のきっかけづくり	仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供	住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助	住民がいつでも集まれる場所の提供	活動のリーダーを支援・養成する研修会や講習会の実施	活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助	地域活動への住民の評価・意見を出し合う機会や場の提供	地域活動をしているグループ間のネットワークづくり	その他	行政は関与しない方がよい	特になし	無回答
全体	1172	39.2	35.8	33.8	28.6	16.4	31.3	10.1	16.6	3.4	0.9	6.7	5.4	
性別	男	468	42.7	37.4	33.5	27.4	18.4	32.7	12.8	17.9	4.1	0.9	5.6	3.8
	女	695	36.8	34.8	34.2	29.5	14.8	30.5	8.3	15.7	2.9	1.0	7.5	6.2
年齢	10・20歳代	68	39.7	33.8	27.9	23.5	10.3	26.5	11.8	17.6	7.4	1.5	7.4	4.4
	30歳代	107	43.9	30.8	37.4	27.1	9.3	37.4	8.4	23.4	3.7	0.9	8.4	0.9
	40歳代	144	35.4	35.4	26.4	22.9	20.1	39.6	13.2	16.0	2.1	0.0	6.3	4.9
	50歳代	190	34.7	35.3	40.5	28.9	16.8	31.1	7.9	22.6	4.2	1.1	4.7	1.6
	60歳代	234	39.3	41.0	33.8	26.5	15.4	31.2	9.8	16.7	2.6	1.3	8.1	4.3
	70歳以上	421	41.1	34.9	33.7	32.8	17.8	28.0	10.5	12.1	3.3	1.0	6.4	8.8
居住年数	1年未満	7	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	1年以上2年未満	16	43.8	37.5	43.8	31.3	12.5	43.8	6.3	31.3	0.0	0.0	6.3	0.0
	2年以上3年未満	9	55.6	44.4	11.1	33.3	33.3	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満	41	48.8	29.3	26.8	22.0	17.1	34.1	9.8	31.7	2.4	0.0	2.4	2.4
	5年以上10年未満	45	33.3	40.0	28.9	24.4	6.7	35.6	6.7	15.6	4.4	0.0	11.1	8.9
	10年以上20年未満	118	34.7	34.7	25.4	28.8	11.0	28.0	10.2	20.3	4.2	0.8	14.4	5.1
	20年以上30年未満	129	35.7	28.7	35.7	27.9	12.4	35.7	10.1	16.3	1.6	1.6	8.5	6.2
	30年以上	798	40.0	37.3	35.8	29.2	18.2	30.8	10.4	15.2	3.6	1.0	5.3	5.3
職業	自営業(商・工・サービス業)	72	37.5	36.1	29.2	26.4	11.1	37.5	16.7	15.3	9.7	0.0	2.8	6.9
	自営業(医師・弁護士など)	13	38.5	23.1	38.5	30.8	30.8	23.1	15.4	23.1	0.0	0.0	15.4	0.0
	会社員	335	42.7	37.0	32.8	23.9	19.7	35.5	10.4	21.5	2.4	0.0	5.1	3.3
	公務員・教員	36	33.3	33.3	33.3	33.3	13.9	19.4	8.3	30.6	8.3	2.8	5.6	5.6
	農・林・漁業	3	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	169	35.5	37.9	32.0	33.7	11.8	30.8	8.3	18.9	2.4	1.2	8.9	4.7
	主婦・主夫(専業)	172	37.2	40.7	38.4	27.9	16.3	28.5	8.1	9.9	1.2	0.6	6.4	8.1
	学生	22	45.5	36.4	18.2	31.8	9.1	22.7	13.6	18.2	9.1	4.5	9.1	0.0
	無職	289	39.8	30.4	35.3	31.8	16.3	30.1	9.3	12.1	3.5	1.7	8.0	6.6
	その他	51	33.3	39.2	39.2	25.5	15.7	25.5	13.7	13.7	5.9	2.0	7.8	3.9
行政区	門司区	129	42.6	36.4	34.1	27.9	17.8	33.3	9.3	14.7	3.1	2.3	2.3	7.0
	小倉北区	199	36.7	36.7	36.7	27.6	20.1	34.2	10.6	18.6	2.5	1.5	5.5	5.5
	小倉南区	247	37.7	28.7	31.6	27.5	15.0	32.8	9.3	20.6	2.8	0.8	9.7	6.5
	若松区	109	33.0	35.8	39.4	25.7	21.1	22.9	15.6	19.3	2.8	0.0	5.5	5.5
	八幡東区	91	49.5	38.5	37.4	30.8	20.9	19.8	8.8	11.0	4.4	0.0	6.6	5.5
	八幡西区	316	39.2	39.9	29.7	28.5	14.2	32.6	8.2	13.9	5.1	0.9	7.6	3.8
	戸畑区	81	42.0	34.6	37.0	37.0	6.2	35.8	13.6	14.8	1.2	0.0	4.9	4.9

■ 経年比較

年度	サンプル数	地域の交流のきっかけづくり	地域の交流のきっかけづくり	仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供	住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助	住民がいつでも集まれる場所の提供	活動のリーダーを支援・養成する研修会や講習会の実施	活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助	地域活動への住民の評価・意見を出し合う機会や場の提供	地域活動をしているグループ間のネットワークづくり	その他	行政は関与しない方がよい	特になし	無回答
令和5年度	1172	39.2	35.8	33.8	28.6	16.4	31.3	10.1	16.6	3.4	0.9	6.7	5.4	
平成30年度	1053	41.2	38.2	39.2	30.4	18.7	30.7	9.7	17.8	3.1	1.1	5.6	3.0	
平成26年度	1275	46.2	40.5	37.2	30.7	19.1	30.8	12.2	17.4	1.5	0.2	4.3	4.9	

(注) **太字** 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

住民主体のまちづくりを進めるために行政がやるべきこと

【 全 体 的 傾 向 】

住民主体のまちづくりを進めるために、今後、行政が取り組むべきことは、「地域単位のイベントの開催など、住民同士の交流のきっかけづくり」(39.2%)が最も多く、次いで「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」(35.8%)、「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」(33.8%)、「活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助」(31.3%)と続き、これらは3割以上となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

《性別にみると》

- 男性では「地域単位のイベントの開催など、住民同士の交流のきっかけづくり」は 42.7%であるが、女性では 36.8%と、男性の方が 5.9 ポイント多くなっている。

《年齢別にみると》

- 30・40 歳代では「活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助」、50 歳代では「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」、60 歳代では「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」が多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 3 年以上 5 年未満で「地域単位のイベントの開催など、住民同士の交流のきっかけづくり」、「地域活動をしているグループ間のネットワークづくり」が多くなっている。

《職業別にみると》

- 差はみられるが、傾向として特に指摘するような点はみられない。

《行政区別にみると》

- 若松区では「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」が最も多いが、その他の区では「地域単位のイベントの開催など、住民同士の交流のきっかけづくり」が最も多くなっている。

【 経 年 比 較 】

上位項目である「地域単位のイベントの開催など、住民同士の交流のきっかけづくり」(平成 26 年度 46.2%→平成 30 年度 41.2%→今年度 39.2%)、「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」(平成 26 年度 40.5%→平成 30 年度 38.2%→今年度 35.8%)、「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」(平成 26 年度 37.2%→平成 30 年度 39.2%→今年度 33.8%)はすべて平成 26 年度に比べて減少している。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 行政は地域と常に情報を取り合い地域を盛り上げてほしい。
- ・ 警察によるパトロールの強化。夏は公園で花火や騒音、ゴミの放置がひどく寝られない。

- ・ 誰でも負担なく参加できるように、地域活動を複雑にしないように自治会へ働きかける事。
- ・ 地域活動に関し、根本的に見直すべきでは。その地域に住んでいて特に問題を感じなければ、地域活動の必要性を感じない。
- ・ 個人でやれるだけ頑張る。そういう人もいることを理解して下さい。
- ・ 自治会を特定の人やグループに支配させないこと(行政が)。
- ・ 本当に自主的であればよいが、得てして強制される。家庭の事情等で参加が困難なケースがあるが、参加できないとまるで犯罪者扱いされる。あれこれと言いたくない事情を聞かれ話すと一気に町内中に知れ渡ってしまう。プライバシーが一切保たれない。過去にそんな経験を何度もしてきているので、近所の逃げる事が出来ない人々とは関わりを持ちたくない。遠くであればいくらでも参加する。
- ・ 自治会は役員のなり手がなく、行政からの活動が増える事で負担を感じ、自治会離れになっているのが現状です。行政のOBの方に地域活動への参加を呼びかけてほしい。
- ・ 今からはマンパワーではなくIT機器に頼ろう。
- ・ 北九州市自治会総連合会規約の見直しを指導する。自治会長の平均年齢を下げ自治会の区割りの見直しをする。
- ・ まずは市の財政をどうにかすべき。
- ・ 行政が主体になって活動する。意見のまとめ役、町内活動費補助、活動のリーダーになるなど。
- ・ 静かに見守り、出過ぎないこと。
- ・ 人と人との繋がりも大切だが、交通、施設等のハードの充実も大切。
- ・ 24時間あらゆる相談に対応できる体制を構築し、それをわかりやすく利用、活用できるようにする事。行政の24時間体制を是非実現してほしい。形だけの口先だけでなく、判断できる幹部を公僕として24時間対応させてほしい。少しでも市民の立場になって、市民が少しでも期待できる役所(行政)になって頂きたい。
- ・ 電子媒体をうまく活用したコミュニティ作り。
- ・ 行政や企業と連携していくべき。
- ・ 町内会が高齢化し、若い人がほぼいない中、活動ができなくなっている現状がある。
- ・ 義務教育の中にも、もっと意識付け出来るイベントを。
- ・ 高齢化しているので住民魔剣項状態の把握、困ったことにすぐ対応してほしい。
- ・ 働く世代とお年寄りの世代の交流には時間帯がずれてしまうので、そこを埋めることが必要。
- ・ イベントにも住民との交流にも参加しない人達へのケアや手助けを考える。

3 まとめ

■ 「北九州市自治基本条例」と「自治」について

平成 22 年 10 月 1 日に施行された「北九州市自治基本条例」の認知状況をみると、「内容をよく知っている」(0.5%)と「どのようなものなのか、ある程度知っている」、「名称は知っている」を合わせた『認知層』は 30.9%となっている。

『認知層』は、平成 26 年度の 36.3%から平成 30 年度は 30.5%に低下し、今年度は 30.9%に若干増加したものの、平成 26 年度よりも少なくなっている。

年齢別にみると、10・20 歳代で『認知層』が 22.1%となっているが、30 歳代以上では、年齢が高くなるほど『認知層』が概ね多くなっており、70 歳以上では 39.2%と最も多くなっている。

自治会のあり方（市民と行政の役割分担）については、「自治」のあり方は、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」(71.1%)が最も多くなっている。

平成 26 年度以降の推移をみると、各年度とも「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多く、かつ、その割合は増加傾向にあり、逆に、「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は減少傾向にある。

「自治」を進めるために大切なことは、「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(62.5%)が最も多く、6割強となっている。次いで「市民相互の連携・尊重に努める」(16.6%)、「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(12.5%)の順になっている。

平成 26 年度以降の推移をみると、「市民と市が協力して、まちづくりを進める」と「市民相互の連携・尊重に努める」が増加傾向にあり、「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」が減少傾向にある。

■ 市政やまちづくりの情報について

市が発信している市政やまちづくりに関する情報媒体で、よく見て(聞いて)いるものは、「市政だより」(78.8%)が最も多く、次いで「テレビ・ラジオのニュース」(41.5%)、「回覧板」(35.7%)、「新聞記事」(25.3%)の順となっている。

平成 26 年度以降の推移をみると、「市政だより」、「回覧板」、「新聞記事」、「市政テレビ・ラジオ番組」は減少傾向にあり、「テレビ・ラジオのニュース」は増加傾向にある。インターネットの普及等により「北九州市のホームページ」や「ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)」が増加しているが、まだ 1 割台にとどまっている。

年齢別にみると、「市政だより」、「回覧板」、「新聞記事」、「市政テレビ・ラジオ番組」、「新聞広告」は年齢が高いほど概ね多く、「北九州市のホームページ」は 50 歳代以下、「ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)」は 30 歳代以下に、「テレビ・ラジオのニュース」は全年齢層で受け入れられている。

市が発信する情報の中で、興味のある事項としては、「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」(57.0%)が最も多く、次いで「健康(保険・医療)に関すること」(54.2%)、「防災に関すること」(37.6%)、「各種手続きに関すること」(32.3%)、「市の長期構想や将来計画」(31.7%)、「安全・安心に関すること」(30.4%)となっている。

年齢別にみると、「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」、「健康(保健・医療)に関すること」は根拠例が高くなるほど概ね多くなる傾向にあり、40 歳代以下、特に 30 歳代では、「子育てに関すること」、「教育に関すること」が多くなっている。

市が発信している市政やまちづくりに関する情報のわかりやすさとしては、「分かりやすい」(10.4%)と「どちらかと言えば、分かりやすい」(41.2%)を合わせた『肯定層(分かりやすい)』は51.6%で、5割強となっている。

『肯定層』は、平成26年度の56.7%から今年度は51.6%となり、5.1ポイント減少している。

性別にみると、男性では『肯定層』は46.3%であるが、女性では55.1%と、男性より8.8ポイント多い。

市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量としては、「適切」(56.7%)が最も多くなっている。「多い」(1.6%)と「やや多い」(6.2%)を合わせた『多い層』は7.8%と1割に届かず、「やや少ない」(24.7%)と「少ない」(7.9%)を合わせた『少ない層』が32.6%と多くなっている。

市の情報発信の方法について改善が必要と思うこととしては、「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」(41.2%)が最も多く、次いで、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」(40.6%)「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」(20.9%)と続いている。

性別にみると、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」が(男性36.3%－女性43.6%:7.3ポイント差)、「市の課題や、施策・事業などの検討過程の情報を発信して欲しい」(男性22.6%、女性16.1%:6.5ポイント差)、「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」(男性44.2%、女性39.1%:5.1ポイント差)で男女の差が大きくなっている。

年齢別にみると、明確な傾向とまではいえないが、年齢の高い層では、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」、年齢の低い層では「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」を重視しているようだ。

■ 市民参画について

市政への関心としては、「大変関心がある」(15.0%)と「まあまあ関心がある」(55.0%)を合わせた『関心層』は70.0%となっている。

『関心層』は、平成26年度の73.3%から平成30年度には67.3%に減少し、今年度は70.0%に回復しているが、平成26年度の水準には達していない。

性別みると、『関心層』は男では76.1%、女では65.9%と、男の方が10.2ポイント多く、年齢別にみると、年齢が高いほど『関心層』が多く、年齢が低いほど『無関心層』が多くなっている。

市政に対して意見や提案をする(市民参画)の機会については、「多いと思う」(0.9%)と「どちらかと言えば多いと思う」(11.9%)を合わせた『多い層』は12.8%、「どちらかと言えば少ないと思う」(27.4%)と「少ないと思う」(13.7%)を合わせた『少ない層』は41.1%となっている。

『多い層』は、平成26年度の16.7%から今年度は12.8%に減少し、『少ない層』が平成26年度の39.4%から今年度は41.1%に微増している。

性別にみると、『少ない層』は男性では48.0%、女性では36.7%と、男性の方が11.3ポイント多く、年齢別にみると、年齢が高いほど『少ない層』が概ね多くなる傾向にある。

これまでに市政に対して意見や提案をした経験は、「参加した経験はない」(86.5%)が最も多くなっている。意見や提案をした経験としては、「出前講演などへの参加」(6.0%)が最も多く、次いで「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(3.3%)となっている。

あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じるかは、「とても感じている」(0.6%)と

「ある程度感じている」(6.5%)を合わせた『肯定層』は 7.1%と1割未満にとどまった一方、「あまり感じていない」(23.2%)と「ほとんど感じていない」(24.4%)を合わせた『否定層』は 47.6%と約5割となっている。

『関心層』は、平成 26 年度の 8.4%から今年度は 7.1%に、『否定層』が 49.0%から 47.6%になっており、両者で微減している。

性別にみると、『否定層』は、男では 52.8%、女では 44.0%、男の方が 8.8 ポイント多くなっている。

あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると「あまり感じていない」「ほとんど感じていない」と思う理由としては、「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」(53.4%)が最も多く、5割強となっている。次いで「自分の意見が市に届いているという実感が無い」(34.6%)、「市政に関する情報発信が不十分」(20.4%)の順になっている。

平成 30 年度に「市の取り組みに関心がない」が 17.6%と一時的に多くなった以外は、大きな変化はみられない。

今後（または今後も）市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思うかは、「参加したい」(4.3%)と「時間があれば参加したい」(14.8%)、「興味のある分野で参加したい」(39.7%)を合わせた『参加層』は 58.8%で、6割弱となっている。

性別にみると、『参加層』は、男では 64.6%、女では 55.1%、男の方が 9.5 ポイント多くなっている。

市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思う方法としては、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(52.5%)が最も多く、次いで「出前講演などへの参加」(35.4%)、「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」(28.0%)、「委員会や審議会などの公募委員としての参加」(10.3%)となっている。

平成 26 年度以降の推移としては、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」、「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は増加しているが、「出前講演などへの参加」は減少している。

年齢別にみると、60 歳代以下では「電話やFAX、電子メールでの意見提出」が多く、年齢の高いほど多いのが「出前講演などへの参加」、10・20 歳代では「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」が多くなっている。

市政に対して意見や提案をする（市民参画）ことに、「参加したくない」と思う理由としては、「参加することに興味がない」(29.6%)が最も多く、次いで、「参加する時間がない」(21.4%)「特に市政に対する意見がない」(17.7%)の順になっている。

平成 26 年度、平成 30 年度では「参加する時間がない」が最も多かったが、今年度は 21.4%で2位となっている。また、「特に市政に対する意見がない」も平成 26 年度の 23.1%から 17.7%に 5.4 ポイント減少している。そうした中で、「参加することに興味がない」が増加し、平成 26 年度の 17.9%から 29.6%に、12.0 ポイント増加している。

市政への市民参画を進めるために必要だと思うこととしては、「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」(25.3%)と「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」(25.2%)の2つが2割を超え、次いで「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」(19.3%)の順になっている。

平成 26 年度以降、「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」、「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」は増加傾向にあり、「意見や提案をする機会

や方法に関する情報をわかりやすく発信する」は減少傾向にある。

年齢別にみると、10・20 歳代、50・60 歳代では「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」、30 歳代では「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」、70 歳以上では「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」が最も多くなっている。

■ 地域活動について

これまでに「地域活動」に参加した経験については、「ある」が 50.9%、「ない」が 47.0%となっている。

「ある」は、平成 26 年度の 57.1%から今年度は 50.9%に、6.2 ポイント減少している。

性別にみると、「ある」は男性では 47.9%、女性では 53.2%、女性の方が 5.3 ポイント多くなっている。

参加した「地域活動」で活動回数の多いものとしては、「自治会・町内会の活動」(82.9%)が最も多く、8割強となっている。次いで「PTA での活動」(30.2%)「子ども会での活動」(21.1%)と続いている。

平成 26 年度に比べて「PTAでの活動」や「勤務先(企業など)での活動」は微増しているが、その他の活動については微減している。

性別にみると、「PTAでの活動」(男 17.0%、女 38.4%:21.4 ポイント差)、「子ども会での活動」(男 15.6%、女 24.6%:9.0 ポイント差)で男女の差が大きくなっている。

「地域活動」に参加している理由としては、「地域の人と触れ合えるから」(47.2%)が最も多く、5割弱となっている。次いで「地域に貢献したかったから」(36.7%)、「活動に参加することが当然であるから」(29.0%)、「地域の必要な情報を得ることができるから」(28.0%)の順となっている。

平成 26 年度と今年度を比べると、「地域の人と触れ合えるから」(58.0%→47.2%:10.8 ポイント減)と「活動に参加することが当然であるから」(40.8%→29.0%:11.8 ポイント減)が大きく減少している。

性別にみると、「地域に貢献したかったから」(男 46.4%、女 30.8%)で男女差が大きい。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど、「地域の人と触れ合えるから」、「活動に参加することが当然であるから」、「地域の必要な情報を得ることができるから」は概ね多くなる傾向にある。逆に、「周囲の人が参加しているから」は年齢が低いほど概ね多くなる傾向にある。

「地域活動」に参加したきっかけとしては、「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」と「周囲の人に参加を勧められたから」が各 29.6%と最も多く、次いで「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(27.6%)となっている。

平成 26 年度と今年度を比べると、「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(37.7%→27.6%:10.1 ポイント減)は減少しているが、「周囲の人に参加を勧められたから」(26.7%→29.6%:2.9 ポイント増)は増加している。

「地域活動」に参加したことが「ない」理由としては、「地域活動する時間がない」と「地域の団体のことがよくわからない」が各 18.5%と最も多く、次いで「どんな活動をしたらいいのかわからない」と

「特に理由はない」が 15.2%、「参加することに負担を感じる」(14.9%)となっている。

平成 26 年度以降、「どんな活動したらよいかわからない」が 20.6%から 15.2%に減少している
以外は、大きな変化はみられない。

これからの地域活動を支える大切な団体としては、「自治会・町内会」(66.9%)が最も多く、次いで「まちづくり協議会」(41.2%)、「社会福祉協議会」(26.7%)の順となっている。

平成 26 年度が今年度にかけて、「自治会・町内会」が 75.4%から 66.9%に 8.5 ポイント減少し、「企業」が 19.8%から 23.9%に 4.1 ポイント増加している。

■ 自治会・町内会について

住んでいる地域の自治会・町内会の活動については、「よく知っている」(11.6%)と「ある程度知っている」(43.8%)を合わせた『認知層』は 55.4%、「あまり知らない」(24.8%)と「全く知らない」(17.9%)を合わせた『非認知層』は 42.7%で4割強となっている。

平成 26 年度以降、大きな変化はみられないものの、『認知層』は微減傾向となっている。

知っている地域の自治会・町内会の活動としては、「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(88.3%)が最も多く、次いで「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(80.3%)、「ごみステーションの管理や清掃などの環境美化活動」(76.1%)、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(66.7%)の順となっている。

平成 26 年度以降、「ごみステーションの管理や清掃などの環境美化活動」(70.9%→76.1%)は増加し、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(74.3%→66.7%)、「高齢者や子どもの見守り」(50.9%→46.8%)は減少している。

自治会・町内会への加入状況としては、加入率(加入している)は 66.2%、「加入していない」(24.2%)を大きく上回っている。

平成 26 年度以降、加入率は減少傾向にあり、平成 26 年度の 73.9%から今年度は 66.2%に、7.7 ポイント減少している。

自治会・町内会に「加入していない」理由としては、「加入しなくても日常生活に支障がない」(34.2%)が最も多く、次いで「加入を勧められたことがない」(29.9%)、「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」(29.6%)、「役員になりたくない」(26.8%)の順となっている。

平成 26 年度以降、「加入しなくても日常生活に支障がない」(35.4%→29.9%)、「興味のある活動が行われていない」(13.5%→8.5%)は減少し、「加入しなくても日常生活に支障がない」(28.7%→34.2%)は増加傾向にある。

■ 住民主体のまちづくりについて

住民主体によるまちづくりが必要性については、「非常に必要だと思う」(30.0%)と「ある程度必要と思う」(52.7%)を合わせた『必要層』は 82.7%で、8割強となっている。

平成 26 年以降、『必要層』は減少傾向にあり、特に「非常に必要だと思う」が 42.8%から 30.0%、12.8 ポイント減少している。

住民主体のまちづくりが「どちらとも言えない」「あまり必要ではない」「ほとんど必要ではない」と思う理由は、『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるもの

だと思う』(33.9%)が最も多く、次いで「地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない」(33.1%)となっている。

平成 26 年度以降、「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う」は増加し、「地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない」が減少している。

住民主体のまちづくりを進めるために、今後、行政が取り組むべきこととしては、「地域単位のイベントの開催など、住民同士の交流のきっかけづくり」(39.2%)が最も多く、次いで「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」(35.8%)、「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」(33.8%)、「活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助」(31.3%)と続き、これらは3割以上となっている。

平成 26 年度と今年度を比べると、上位項目である「地域単位のイベントの開催など、住民同士の交流のきっかけづくり」、「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」、「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」はすべて減少傾向にある。

年齢別にみると、30・40 歳代では「活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助」、50 歳代では「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」、60 歳代では「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」が多くなっている。

